

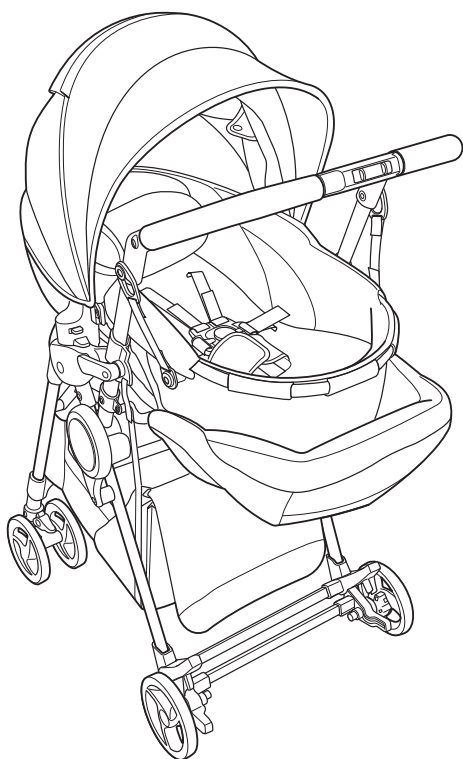


AILEBEBE

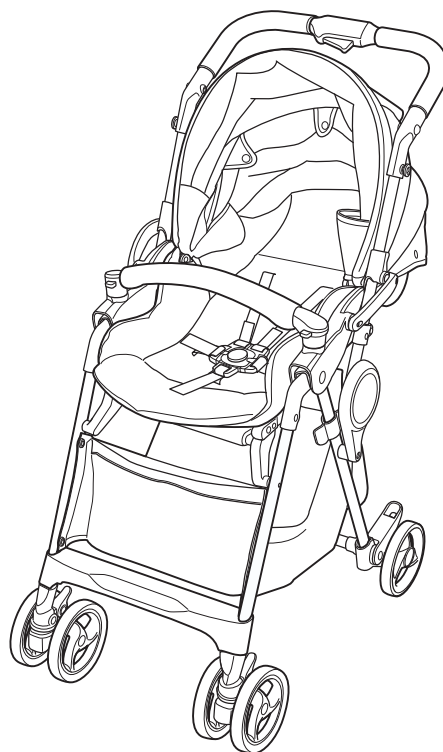
フラコット

取扱説明書

保証書付



コットモード



チェアモード

動画
取扱説明



このたびは、本品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- 本品をご使用前に必ず、取扱説明書(本書)をお読みいただき、内容を充分にご理解の上、ご使用ください。
- 本書は、お読みになったあと、大切に保管してください。
- 本書のイラストは、説明をわかりやすくするために実物とは形状が異なる場合があります。

目次

はじめに 3

ご使用の前に	3
使用期間について	3
安全にお使いいただくために	4
各部の名称と付属品	12

基本の操作方法 14

本品の開きかた・たたみかた	14
本品の開きかた	14
本品のたたみかた	15
ストッパーの使いかた	16
ストッパーのロックのしかた	16
ストッパーのロック解除のしかた	16
キャスターロックレバーの使いかた	17
キャスターのロックのしかた	17
キャスターのロック解除のしかた	17
シェードの使いかた	18
シェードの広げかたとたたみかた	18
シェードボタンの使いかた	18
ウィンドウの使いかた	18
虫よけネットの使いかた	19
広げかた	19
収納のしかた	19
収納部の使いかた	19

お子さまの乗せかた 21

バックルとベルトの使いかた	21
バックルの外しかた<コット・チェアモード共通>	21
ベルトの伸ばしかた<コット・チェアモード共通>	21
ベルトの縮めかた<コット・チェアモード共通>	22
バックルの留めかた<コット・チェアモード共通>	22
フットカバーの取り付けかた・取り外しかた	23
フットカバーの取り付けかた	23
フットカバーの取り外しかた	23
ガードの開きかた・閉じかた (チェアモード)	24
開きかた	24
閉じかた	24
リクライニングのしかた (チェアモード)	24
背もたれの倒しかた	25
背もたれの起こしかた	25
肩ベルトの高さ調節のしかた (チェアモード)	25

クッションの取り付けかた・取り外しかた	26
取り外しかた (コットモード)	26
取り付けかた (コットモード)	27
リバーシブルで使う場合	27
取り付けかた (チェアモード)	28
取り外しかた (チェアモード)	30

モードチェンジのしかた 32

コットモード → チェアモード	32
チェアモード → コットモード	34

お手入れのしかた 36

座席メッシュの取り付けかた・取り外しかた	36
取り外しかた	36
取り付けかた	37
バックルへのベルトの取り付けかた・取り外しかた	38
取り付けかた (肩・腰・股バックル共通)	38
取り外しかた (肩・腰・股バックル共通)	38
ガードカバーの取り付けかた・取り外しかた	39
取り外しかた	39
取り付けかた	39
その他のお手入れのしかた	39
カバー類・クッション類のお手入れ	39
フレームのお手入れ	39

その他 40

メンテナンスのしかた	40
保管について	41
点検	41
廃棄方法	41
オプション品について	41
こんなときは／よくあるご質問	42
保証書	43
保証規定	43

ご使用の前に

この製品は、一般家庭でお子さまを乗せて外気浴、買いものなどに使用するための一人乗りベビーカー（乳母車）です。

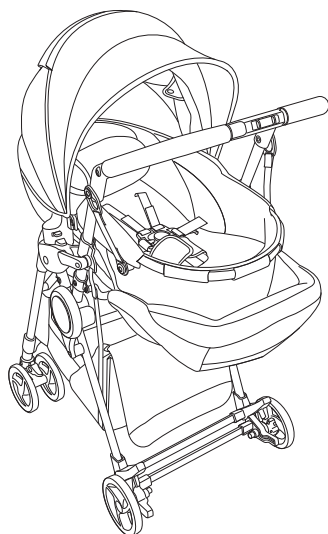
対象年齢 生後0か月～36か月（体重15kgまで）
 注）使用に関して、特に医師等の指導がある場合は指示に従うこと。

望ましい連続使用時間 寝た姿勢：2時間以内
 すわった姿勢：1時間以内

規格 EN 1888:2012

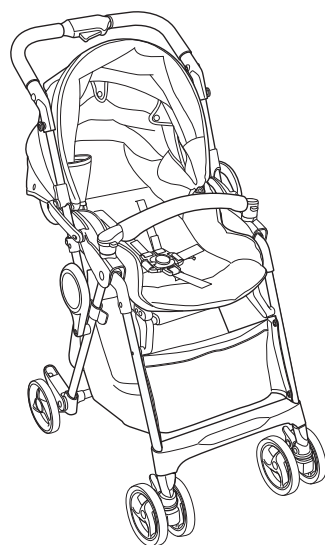
使用期間について

<コットモード>



コット本体 	生後0か月～体重9kg（目安：生後6か月） 注）お子さまの成長は個人差があります。体重が9kg以下であっても、以下の場合はコットモードの使用を中止し、チェアモードに変更してください。
クッション 	①お子さまが一人すわりできるようになった場合 ②手やひざで体を持ち上げることができるようになった場合 ③コット内が窮屈になった場合 ④寝返りができるようになった場合
肩ベルト高さ	下段

<チェアモード>



生後0か月		首すわりごろ （目安：生後3か月）	一人すわりごろ （目安：生後7か月）	体重15kg （目安：生後36か月）
クッション		使用可能 注）チェアモードはクッションを外した状態でも使用できます。（ヘッドクッションは、シートクッション使用時のみ装着可能）		
	最も倒した状態 	使用可能 注）お子さまが大きくなり、シートが窮屈になった場合はリクライニングを起こしてください。		
リクライニング	起こした状態 	使用可能		
	肩ベルト高さ	お子さまの成長に合わせて、下段できつくなったら上段に調節してください。		

安全にお使いいただくために

■安全の注意事項

取扱説明書および製品本体では、安全の注意事項を次のように表示しています。
表示内容をよくご理解ください。



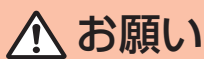
警告

警告を守らずに使用した場合、使用者の死亡や重傷を負う事故につながる可能性があります。



注意

注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながる可能性があります。



お願い

本品の破損や故障を防ぎ、性能を維持するために守っていただきたい項目です。



警告

お子さまを乗せたときは、必ずベルトを締める

お子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ベルトはお子さまの成長にあわせて適切な長さに調節し、ゆるみやねじれないように使用する

お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

肩ベルトは、左右のベルトを交差させて使用しない

お子さまの首を圧迫して窒息するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

腰ベルトのみで使用しない

お子さまがベルトから抜け出して落下したり、肩ベルトがお子さまの首に掛かって窒息するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ベルトを使用しているときも、お子さまから目を離さない

お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

股バックルをお子さまの“へそ”の位置に合わせて使用する

正しい位置に乗っていないと、本品が転倒して、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

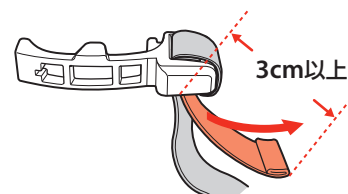
バックルやベルトをお子さまに操作させない

けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠ 警告

ベルトの端から3cm以上残るように調節する

ベルトが抜けてお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。



お子さまを本品の中で立たせない

お子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

お子さまを乗せたまま、本品を持ち上げない

お子さまがベルトから抜け出して落下したり、本品が折りたたまれてお子さまが挟み込まれるなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドル部に荷物をつるしたりしない

本品が不安定になり転倒してお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ハンドルに寄りかかったり、過度な荷重をかけたりしない

本品が転倒し、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

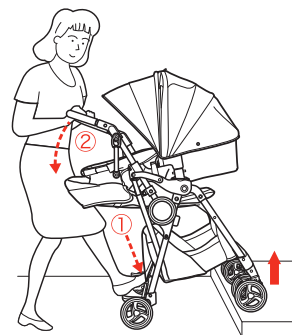
二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せたりしない

本品が不安定になり転倒してお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

無理な段差乗り越えをしない

前輪への衝撃で本品が転倒してお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。縁石など段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。

< 段差の乗り越えかた >



- ① フレームを足でおさえ
- ② ハンドルを押し下げる

お子さまの乗せ降ろしの際はストッパーを使用し、本品が動かないようにする

本品が不安定になり転倒してお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

警告

線路や排水溝の蓋など路面の溝に車輪が挟まらないように注意する

踏切や排水溝の蓋(グレーチング)の上の走行は、車輪が挟まって転倒しお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。溝がある場合は、車輪を浮かせてゆっくり走行してください。万が一車輪が溝に挟まった場合は、挟まった車輪のフレームとハンドルを持って車輪を引き抜いてください。

お子さまが乗っていない場合でも、本品から離れるときは、必ずストッパーを使用する

本品が動き出し、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

階段、エスカレーター、大きな段差のあるところや、悪路(砂場、砂浜、河原、ぬかるみなど)では使用しない

本品が不安定になり転倒してお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ストッパーを過信しない

路面の状態、構造の機能上、耐久性などにより、ストッパーを使用していても、本品が動き出したり、転倒してお子さまがけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。ストッパーをかけた状態でも放置しないでください。

お子さまを乗せたまま、本品から離れない

ストッパーを使用していても、本品が動き出したり、転倒してお子さまがけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

本品にお子さまが乗っていない状態でも坂道や車道に近い歩道に放置しない

本品が動き出して転倒するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

お子さま自身で乗り降りさせない

本品の転倒や、指を挟むなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。

本品の開閉やリクライニング操作のときは周囲に人や障害物がないことを確認する。

本品に挟まれたりぶつかったりして、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。特に小さなお子さまは近づけないでください。また、本品が破損や故障する場合があります。

本品の開閉後、解除スライダーがロックの位置に戻っているか確認する

使用中に折りたたまれて、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

本品を持ち上げ、浮かせた状態で開閉操作をしない

本品が破損して、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠ 警告

走行中にリクライニング操作をしない

けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

お子さまを乗せた状態でリクライニング操作を行うときは、あらかじめ肩ベルトを伸ばす

お子さまがベルトに締め付けられるなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

リクライニング後は肩ベルト、腰ベルト、股ベルトをお子さまの体格に合わせて締める

お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

お子さまを乗せた状態で背もたれを倒すときは、背もたれを支えながら操作する

急に背もたれが倒れ、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

シェードを必ず取り付けて使用する

シェードのロック部などでけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

シェードの開閉時、付け外し時はお子さまの指や手足が挟まれないようにする

可動部でお子さまの指や手足を挟むなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

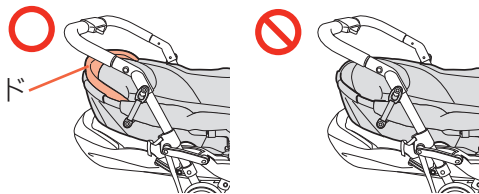
虫よけネットを使用していないときは、巻きあげて必ずボタンで固定する

虫よけネットがお子さまの首にからまって窒息するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。

炎天下での使用時、コットフレームガードを倒したり、コットフレームに触れたりしない

コットフレームが熱くなり、やけどの原因になる場合があります。

コットフレームガード



ガードを閉じるときは、お子さまの指や手足が挟まれないようにする

可動部でお子さまの指や手足を挟むなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

座席メッシュを外した状態で使用しない

お子さまが指を挟むなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ガード使用時も、必ずお子さまにはベルトを使用する

お子さまが本体から落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ガード解除ボタンをお子さまに操作させない

急に開いてけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠ 警告

急激に力を加えたり、放り投げたり、または落下するなど、強い衝撃が加わったあとに使用しない
本品が破損していた場合、お子さまがけがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

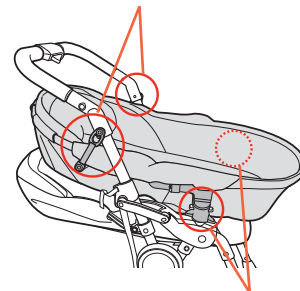
お子さまの遊び道具として使用しない

本品が破損し、お子さまがけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

コット取り付け後は、使用開始前にしっかり固定されているか確認する

コットが落下して、お子さまがけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

左右のバンドがコット
フックに固定されている



左右のコットロックがステー
に固定されている

モードチェンジをするときはお子さまを近づけない

可動部でお子さまの指や手足を挟むなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ベルトからバックルを取り外した場合は、正しく取り付ける

ベルトからバックルが外れ、お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠ 注意**お子さまを乗せる以外の目的で使用しない**

目的以外の使用は、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

お子さまに本品の操作をさせない

けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

ガードを引っ張ったり、過度な力を加えたり、振り回したりしない

けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

ガードを閉じるときは、体や衣服、小物などを挟まない

けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

本品に大人が腰かけたり、過度な力を加えたりしない

転倒して、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

本品を押すときは走ったり滑走したりしない

転倒して、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

お子さまの足が車輪や地面に着く場合は使用しない

本品と地面とのすき間や車輪などにお子さまの足が挟まれるなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

坂道での走行は速度を落とし注意して走行する

本品が不安定になり転倒してお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

前輪を持ち上げた状態で走行しない

過度の荷重が本品に加わり、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

2台のベビーカーを連結して使用しない

けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

本品にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けない

けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

鉄道やバスの中での使用時は次の点に注意する

本品は、鉄道やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本品を鉄道やバスの中で使用するときは、カーブやブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、お子さまに肩と腰のベルトを装着の上、充分注意してご使用ください。また、事前に各鉄道、バス事業者が示すベビーカー利用の可否、方法をご確認ください。ご利用条件を満たさないときは、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、鉄道やバスの中でベビーカーを使用したときの安全を保証するものではありません。

⚠ 注意

積雪、路面の凍結、雪、強風など悪天候のときは使用しない

転倒してけがをするなど予期せぬ事故の原因になる場合があります。また、本品が破損や故障する場合があります。

炎天下で長時間使用しない

直射日光や路面の影響により本品内部の温度が高くなるため、お子さまが熱中症を引き起こす原因になる場合があります。

室内、火気の近く、高温になる場所でレインカバーなどを使用しない

本品内部の温度が高くなるため、お子さまが熱中症を引き起こす原因になる場合があります。

定期的に点検とお手入れをすること

日常点検、メンテナンスをしない状態で使用すると、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
(41 ページ「点検」)

ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない

ご使用の前に、本品のネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、必ず弊社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると予期せぬ事故の原因になる場合があります。

分解、改造、および指定部品以外の交換はしない

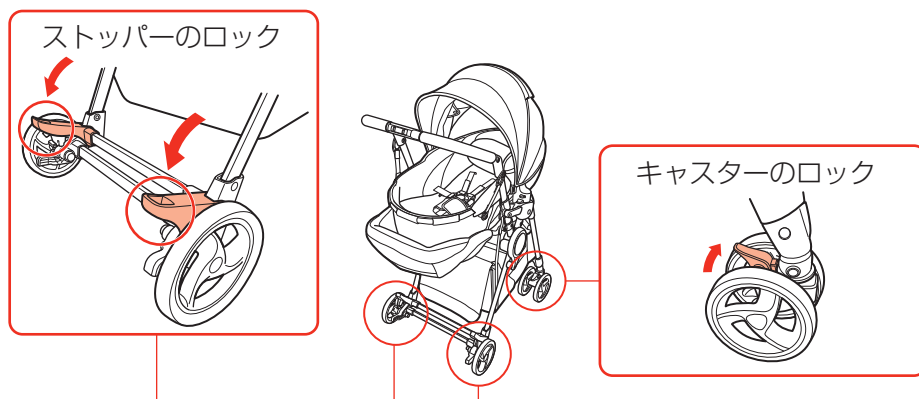
本品の性能が十分に発揮できず、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

本品をたたむときは、前輪のキャスターを内向きにする

本品が転倒するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。

本品を保管するときは前輪のキャスターを内向きにロックし、必ずストッパーをかける

本品が動き出したり、転倒するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。



 お願い

本品を横向きに寝かせたり、上に荷物などを重ねた状態で保存しない

本品が破損や故障する場合があります。

シェードを開いたまま本品を折りたたまない

シェードの破損や変形の原因になる場合があります。

火気の近くに置いたり、炎天下で高温になる車内などに放置しない

本品が破損や故障して、性能を維持できなくなる場合があります。

フレームに砂や泥の汚れを付けたままで使用しない

ネジやナットなどに砂などが入り、本品が破損や故障する場合があります。

本品のフレームのお手入れは水拭き以外しない

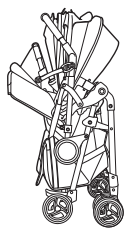
部品の変質や変色、破損する場合があります。

ベルトが水濡れしたまま使用しない

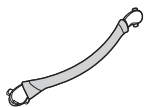
濡れたまま使用するとお子さまの衣服などに色移りする場合があります。必ず乾かしてからご使用ください。

各部の名称と付属品

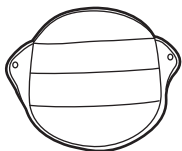
開梱後、各部品が揃っていることをご確認ください。



本体



ガード/
ガードカバー



フットカバー※

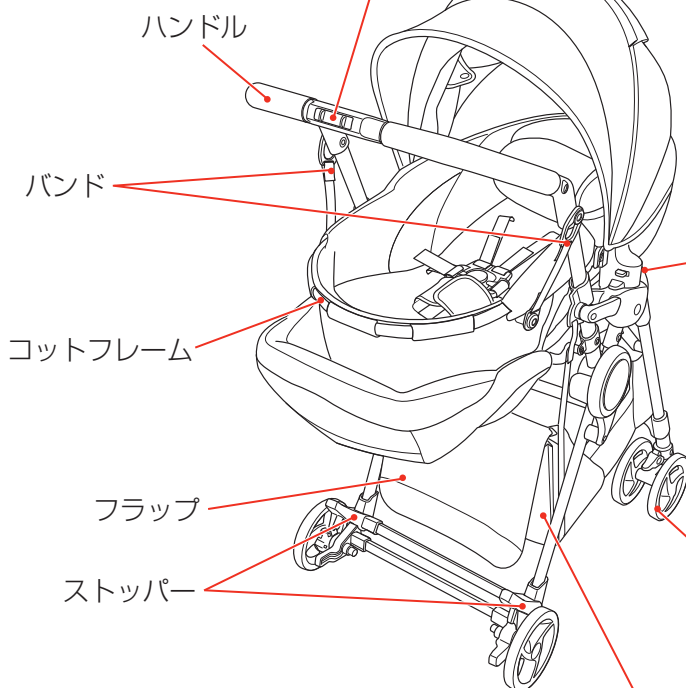
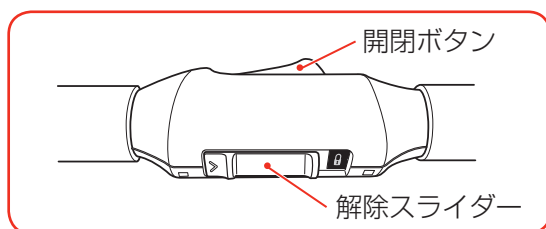


取扱説明書

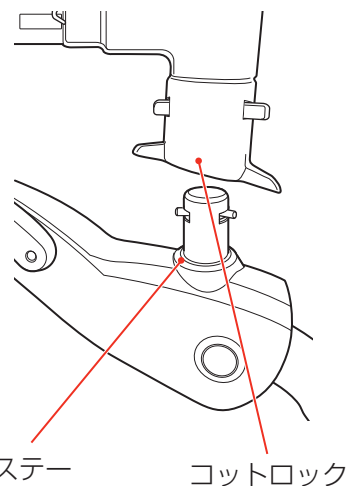


登録のご案内

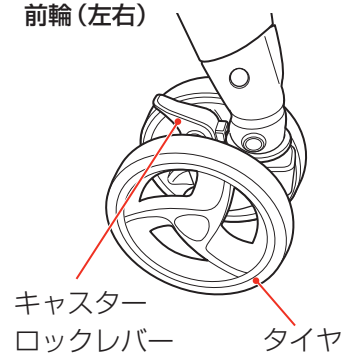
※グレードにより付属されていない場合があります。



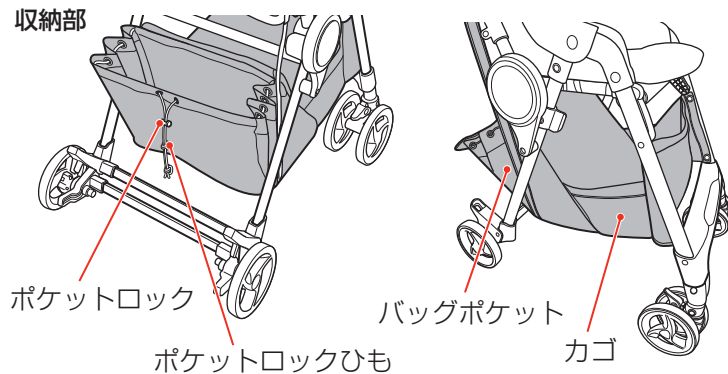
コットロック (左右)
*外した状態



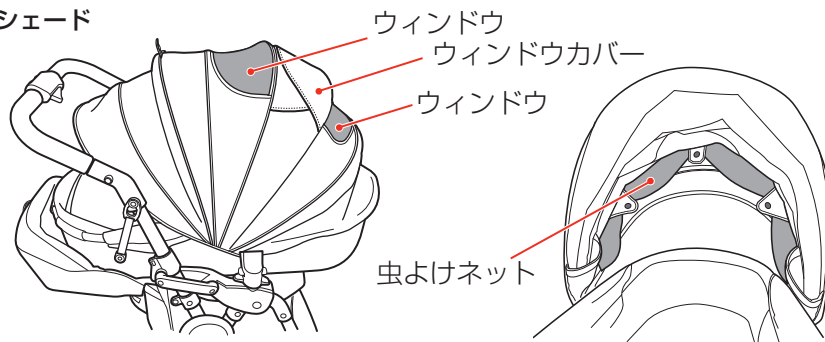
前輪 (左右)



収納部



シェード

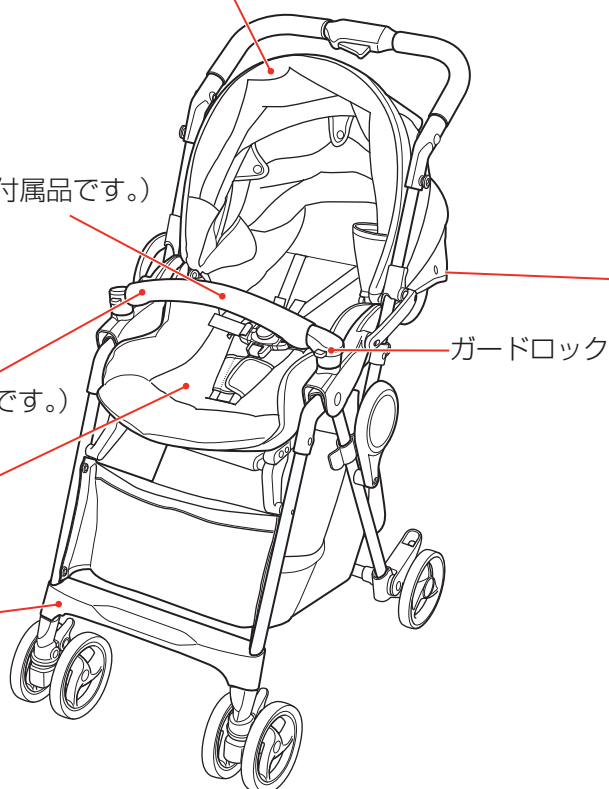


ガードカバー
(ガードカバーは付属品です。)

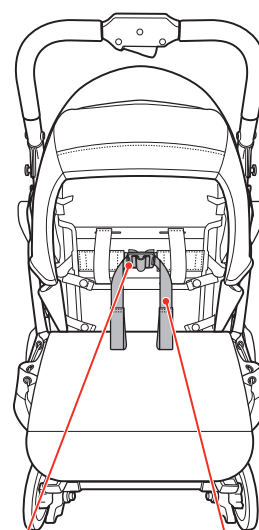
ガード
(ガードは付属品です。)

座席メッシュ

ステップ

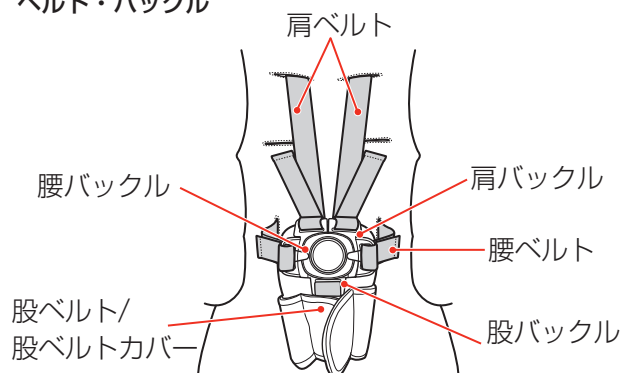


背面

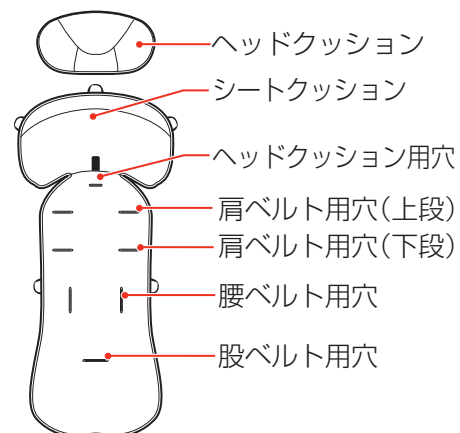


リクライニングロック
リクライニング用テープ

ベルト・バックル



クッション



※グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

基本の操作方法

本品の開きかた・たたみかた

⚠ 警告

- 本品の開閉時は、周囲に人や障害物がないことを確認する
本品に挟まれたりぶつかったりして、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。特に小さなお子さまは近づけないでください。また、本品が破損や故障する場合があります。
- 本品の開閉後、解除スライダーがロックの位置に戻っているか確認する
使用中に折りたたまれてけがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- 本品を持ち上げ、浮かせた状態で開閉操作をしない
本品が破損してけがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠ お願い

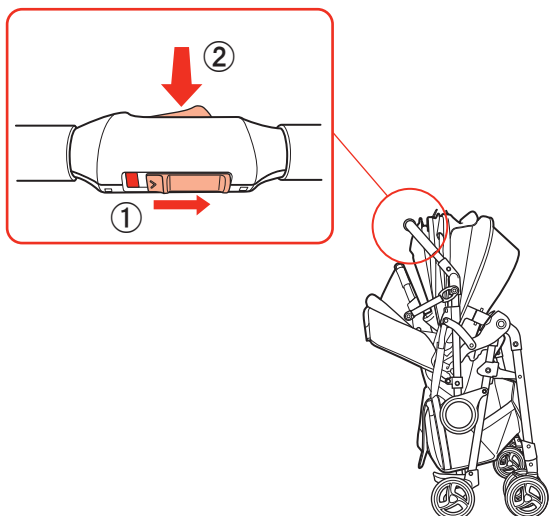
- 解除スライダーがロック時に、開閉ボタンを操作しない
本品が破損や故障する場合があります。

本品の開きかた

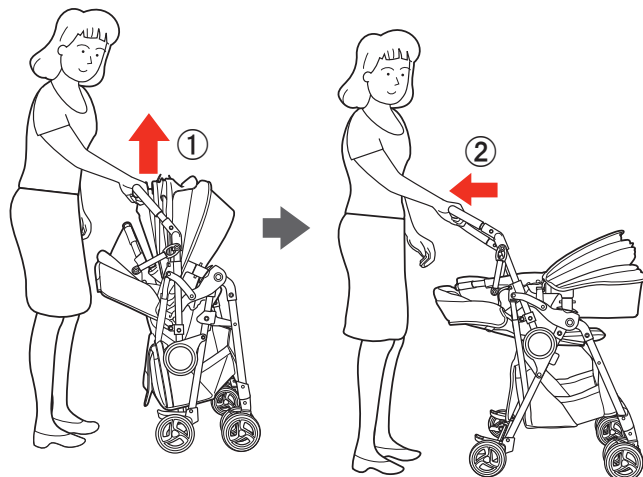
● 準備

本品を安全で、水平な場所に自立させる。

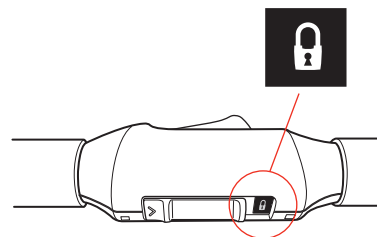
- 1 ハンドル部の解除スライダーをスライドし、赤色のマークが見える状態で開閉ボタンを握る



- 2 開閉ボタンを握った状態でハンドルを持ち上げながら手前に引くと本品が開く



- 3 解除スライダーから手を離し、緑色のマークが見えていることを確認する



本品のたたみかた

⚠️ 注意

- 本品をたたむときは、前輪のキャスターを内向きにする
本品が転倒するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠️ お願い

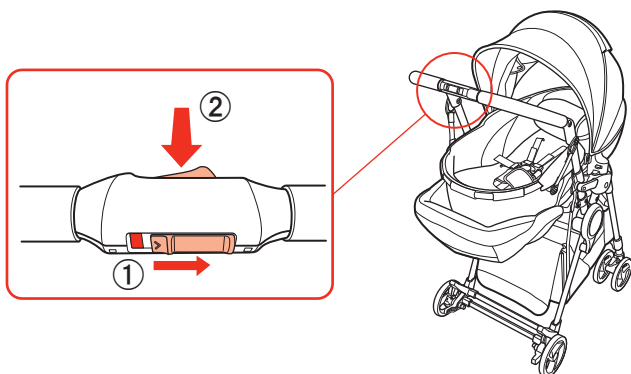
- バンドが外れていないことを確認する
(コットモード時)
本品が破損したり、開かなくなる場合があります。
- 挟み込みや引っかかりが原因でたためない場合は、無理にたたまない
本品が破損や故障する場合があります。一度開いて原因を取り除いてからたたんでください。
- クルマなど狭い場所に収納するときは、シェードに負荷がかからないように収納する
シェードの破損や変形する原因になる場合があります。
- 本品をたたむ前に、必ずシェードを完全にたたむ
シェードの破損や変形する原因になる場合があります。

● 準備

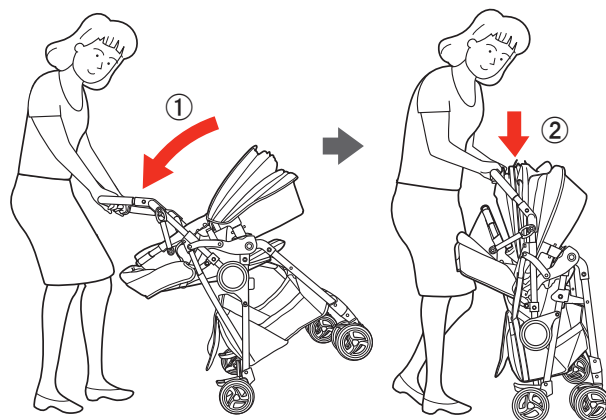
本品を安全で、水平な場所に自立させ、キャスターをロックして前輪の向きを固定する。
(17 ページ「キャスターロックレバーの使いかた」)

1 シェードをたたむ(18ページ：シェードの広げかたとたたみかた)

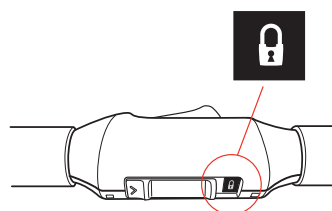
2 ハンドル部の解除スライダーをスライドし、赤色のマークが見える状態で開閉ボタンを握る



3 開閉ボタンを握った状態で、ハンドルを手前に倒して下方向に強く押す

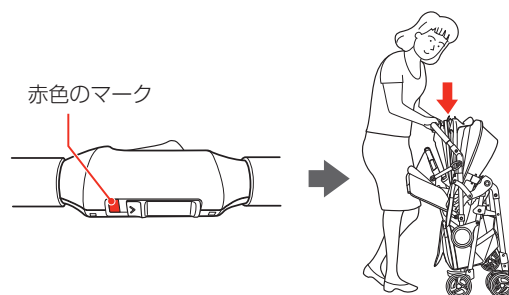


4 解除スライダーから手を離し、緑色のマークが見えていることを確認する



参考

解除スライダーから手を離してもロックされず赤色のマークが見えている場合は、ハンドルを握って下方向に強く押してロックしてください。



ストッパーの使いかた

⚠ 警告

- お子さまを乗せたまま、本品から離れない
ストッパーを使用しても、本品が動き出したり、転倒してお子さまがけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- お子さまが乗っていない場合でも、本品から離れるときは、必ずストッパーを使用する
本品が動き出し、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- ストッパーを過信しない
路面の状態、構造の機能上、耐久性などにより、ストッパーを使用しても、本品が動き出したり、転倒してお子さまがけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。ストッパーをかけた状態でも放置しないでください。

⚠ お願い

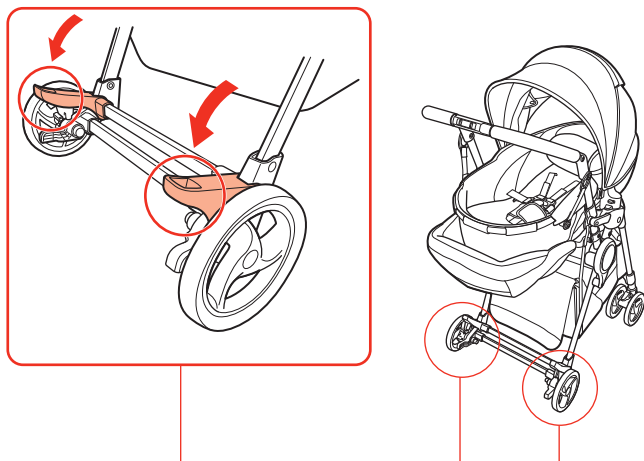
- ストッパーを使用した状態で、本品を動かしたり、体重をかけたりしない
本品が転倒し、破損や故障する原因になる場合があります。

● 準備

本品を安全で、水平な場所に自立させる。

ストッパーのロックのしかた

- 1 左右どちらかのストッパーを押し下げる
後輪にロックがかかります。



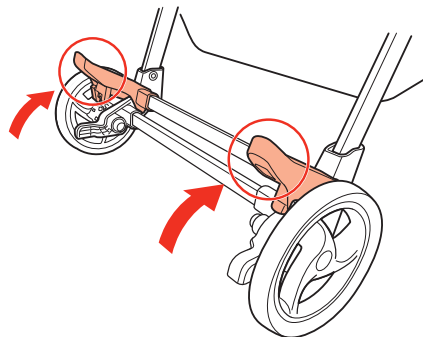
📖 参考

前輪にストッパーはありません。

- 2 ロックされ本品が動かないことを確認する

ストッパーのロック解除のしかた

- 1 左右どちらかのストッパーを押し上げる
後輪のロックが解除されます。



キャスターロックレバーの使いかた

参考

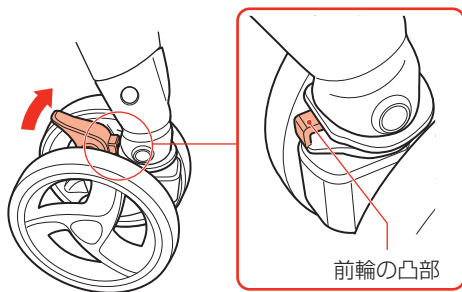
砂利道、横方向に傾斜した道などは、キャスターをロックすると押しやすくなります。

準備

本品を安全で、水平な場所に自立させる。

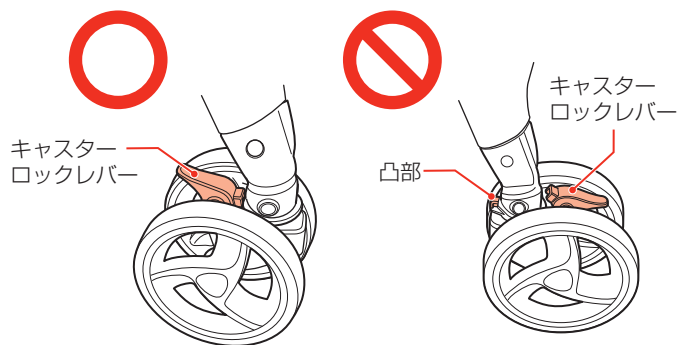
キャスターのロックのしかた

- 1 前輪のキャスターを内向きにして凸部に合わせ、キャスターロックレバーを上げてロックする
左右ともにロックしてください。



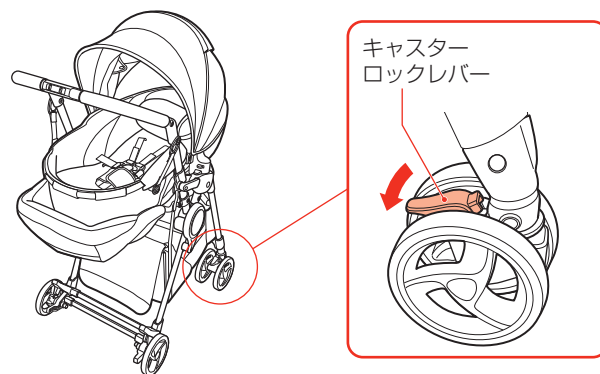
参考

凸部にキャスターロックレバーが合っていないとロックされません。



キャスターのロック解除のしかた

- 1 キャスターロックレバーを下げ、ロックを解除する
左右ともにロックを解除してください。



シェードの使いかた

⚠ 警告

- シェードを必ず取り付けて使用する
シェードのロック部などでけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- シェードの開閉時、付け外し時はお子さまの指や手足が挟まれないようにする
可動部でお子さまの指や手足を挟むなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

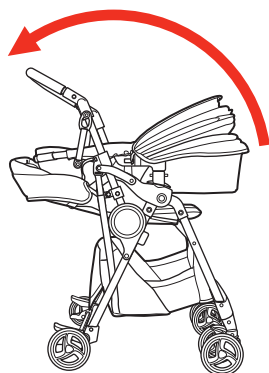
● 準備

本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。

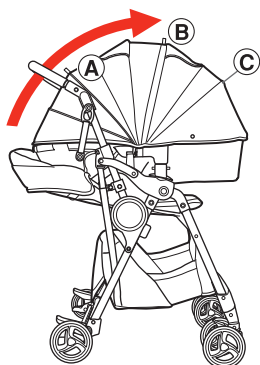
シェードの広げかたとたたみかた

1 シェードを矢印の方向へ動かす

—広げるとき—



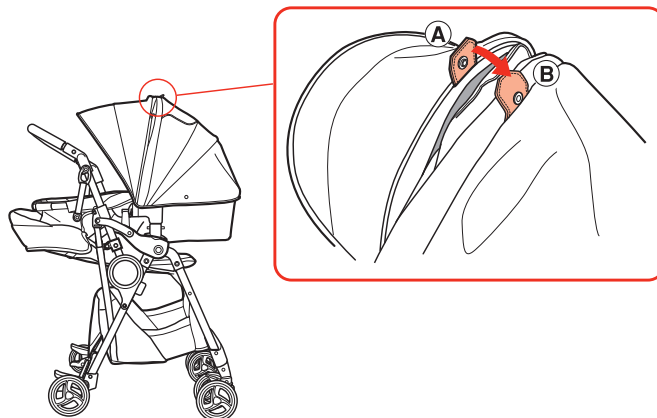
—たたむとき—



シェードボタンの使いかた

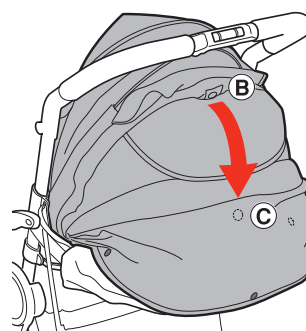
【コットモード時】

1 シェードの①と②のボタンを留める



【チェアモード時】

1 シェードの③と④のボタンを留める

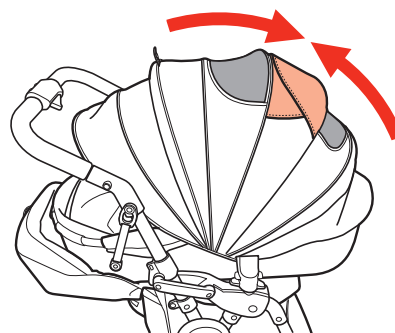


参考

日差しを避けながら、お子さまの顔を見たいときに便利です。

ウィンドウの使いかた

1 換気するときやシェード内を確認するときは、ウィンドウカバーを開く



虫よけネットの使いかた

(コットモードのみ使用できます)

⚠ 警告

- 虫よけネットを使用していないときは、巻きあげて必ずボタンで固定する
虫よけネットがお子さまの首にからまって窒息するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- 炎天下での使用時、コットフレームガードを倒したりコットフレームに触れたりしない
コットフレームが熱くなり、やけどの原因になる場合があります。

📖 参考

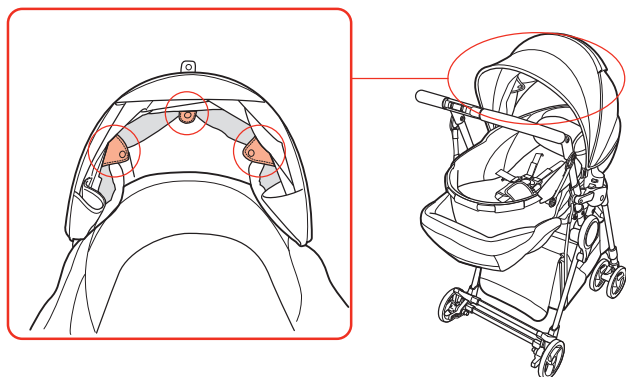
虫よけネットは虫が入りにくい構造になっていますが、全ての虫の侵入を完全に防ぐものではありません。

● 準備

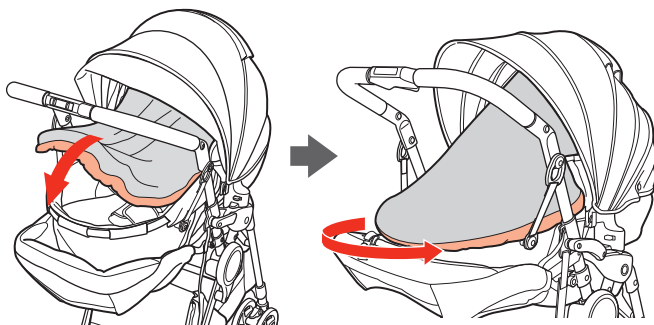
本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。

広げかた

1 シェードの内側にあるボタン(3か所)を外す



2 虫よけネットを広げて、コットフレームにかぶせる



収納のしかた

広げかたの手順2から逆の手順で収納してください。
シェードに固定するときは、丸めて中央のボタンから留めるときれいに収納できます。

収納部の使いかた

⚠ 注意

- 本品をたたむときは、前輪のキャスターを内向きにする
本品が転倒するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠ お願い

- 鋭利なものや、はみ出すような大きなものを入れない
破損や変形する原因になる場合があります。
- 荷物を無理に詰め込まない
破損や変形する原因になる場合があります。
- 貴重品や破損しやすいものは収納しない
- バッグポケット、カゴには、合計重量が5kg以上のものを入れない
収納部が破損や変形する原因になる場合があります。

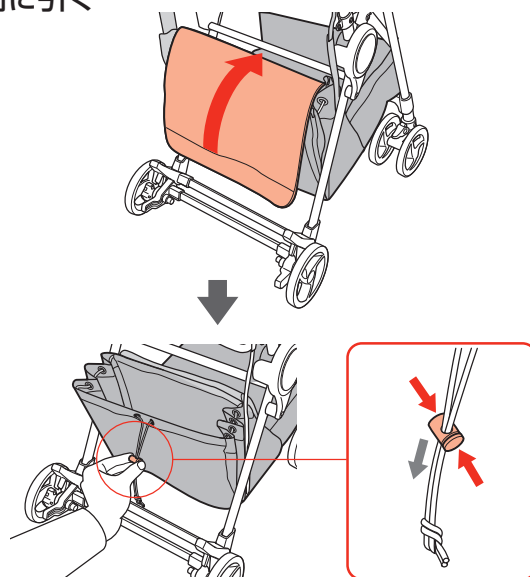
📖 参考

バッグポケットとカゴは、本品をたたんだ状態でも使用できます。

● 準備

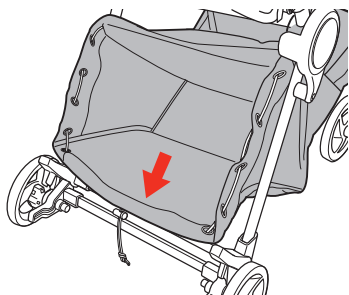
本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。

1 フラップを開け、ポケットロックをつまんで手前に引く

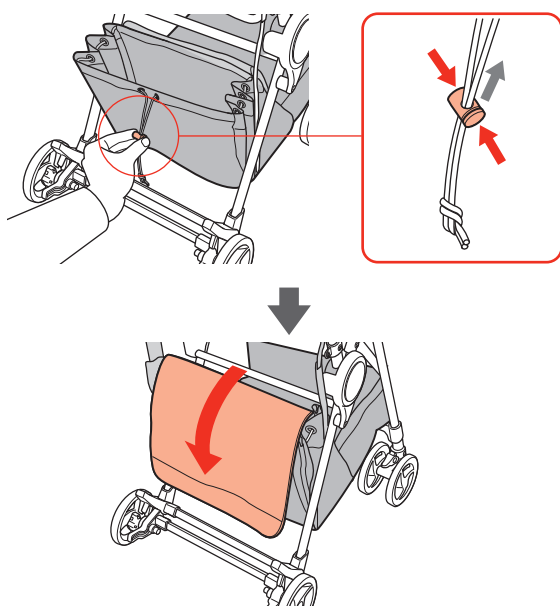


基本の操作方法

2 ポケットの口を大きく開き、バッグ等を収納する



3 ポケットロックをつまんで、ポケットの口を閉め、フラップをかぶせる



お子さまの乗せかた

バックルとベルトの使いかた

⚠ 警告

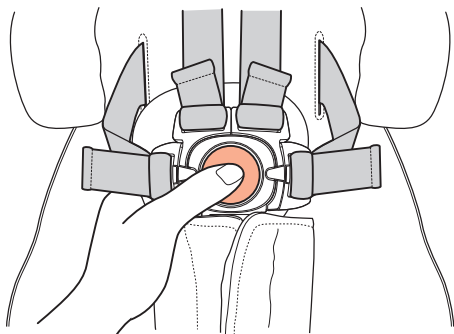
- お子さまを乗せたときは、必ずベルトを締める
お子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- ベルトはお子さまの成長にあわせて適切な長さに調節し、ゆるみやねじれのないように使用する
お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- 肩ベルトは、左右のベルトを交差させて使用しない
お子さまの首を圧迫して窒息するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- 腰ベルトのみで使用しない
お子さまがベルトから抜け出して落下したり、肩ベルトがお子さまの首に掛かり窒息するなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- ベルトを使用しているときも、お子さまから目を離さない
お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- 股バックルをお子さまの“へそ”の位置に合わせて使用する
正しい位置に乗っていないと、本品が転倒して、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- バックルやベルトをお子さまに操作させない
けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

● 準備

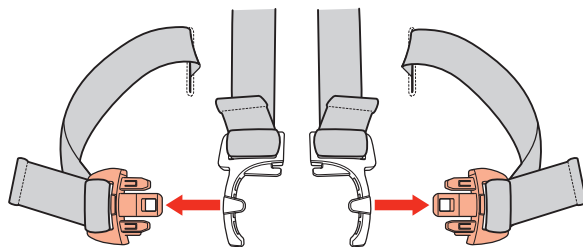
本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。

バックルの外しかた<コット・チェアモード共通>

1 股バックル中央のボタンを押す



2 肩バックルから腰バックルを外す

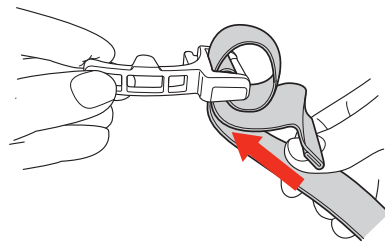


ベルトの伸ばしかた<コット・チェアモード共通>

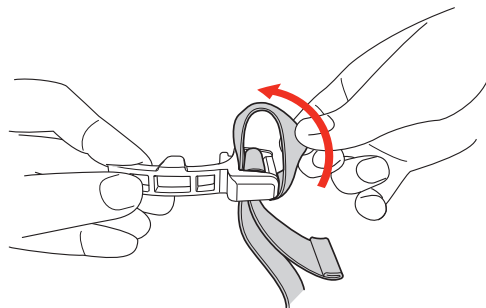
1 バックルの裏側にあるベルトを矢印の方向に押し込む

参考

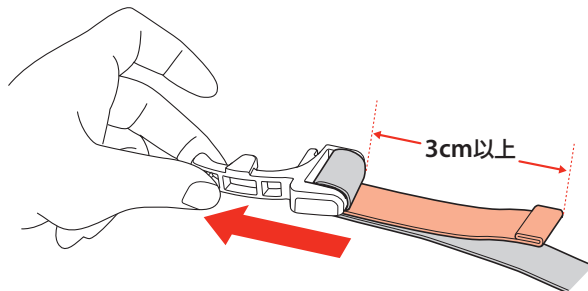
イラストはお子さまが乗車したときの左肩の肩ベルトです。



2 ゆるんだベルトを持ち、矢印の方向へ引く



3 バックルを矢印方向へ引いてゆるみを取る



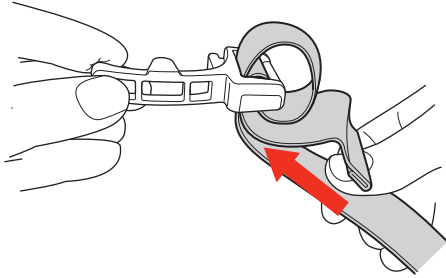
⚠ 警告

- ベルトの端から3cm以上残るように調節する
ベルトが抜けてお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

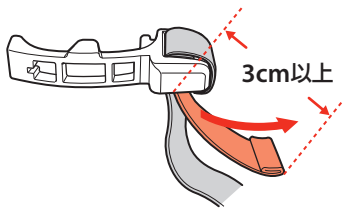
お子さまの乗せかた

ベルトの締めかた＜コット・チェアモード共通＞

- 1 バックルの裏側にあるベルトを矢印の方向に押し込む



- 2 ベルトの端を矢印の方向へ引いてゆるみを取る

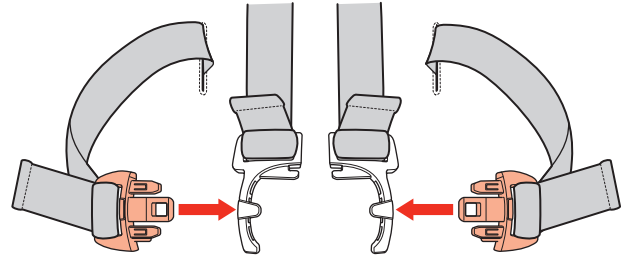


バックルの留めかた＜コット・チェアモード共通＞

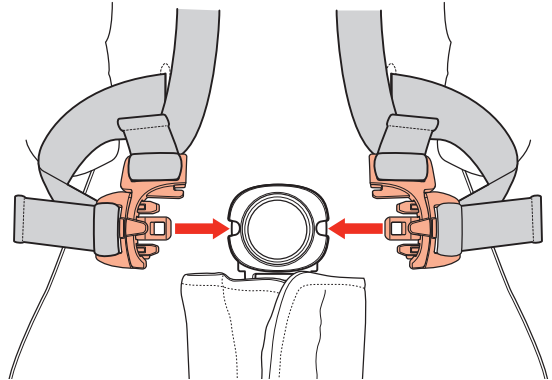
- 1 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがお子さまの下敷きにならないように、本品にお子さまを乗せる



- 2 肩バックルの側面に、腰バックルを差し込む

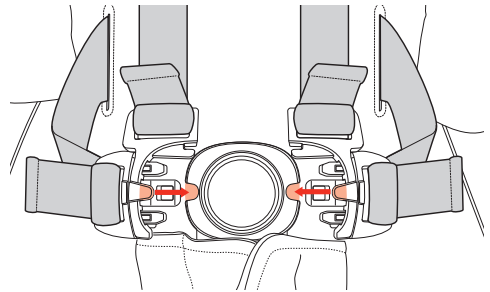


- 3 肩バックルと腰バックルを合わせた状態で、股バックルの側面にカチッと音がするまで差し込む

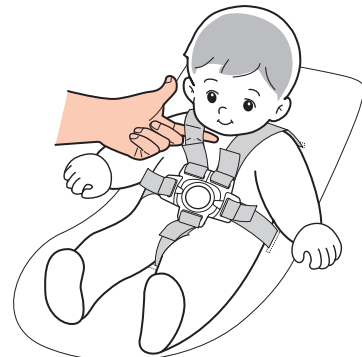


参考

- 股バックルに差し込めないときは、肩バックルの凸部と股バックルの凹部を合わせるようにして差し込んでください。



- ベルトの長さは、お子さまとベルトの間に大人の指が1～2本入る程度が目安です。

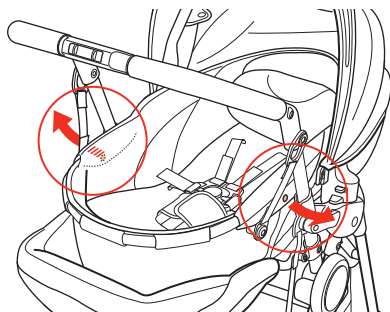


フットカバーの取り付けかた・取り外しかた (コットモードのみ使用できます)

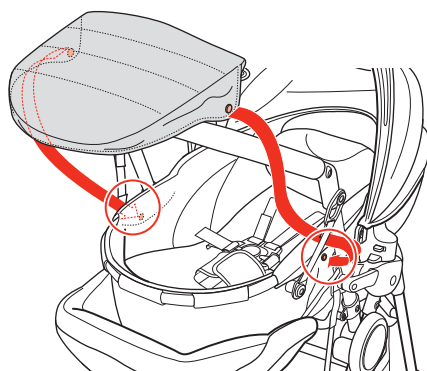
※グレードにより付属されていない場合があります。

フットカバーの取り付けかた

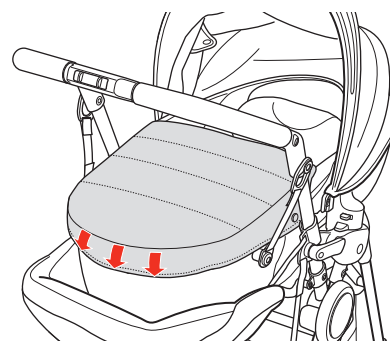
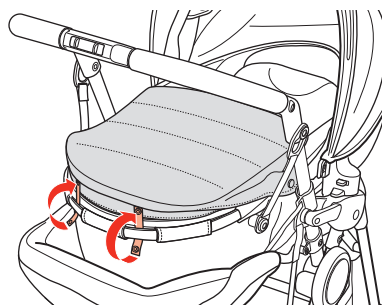
1 コットのボタン(左右)を外す



2 フットカバーのボタン(左右)を留める



3 フットカバーのベルトをコットフレームに通し、ボタン(2か所)を留め、カバーをコットフレームに被せる



参考

- お子さまの乗せ降ろしの際はフットカバーのボタン(左右)を外してください。

フットカバーの取り外しかた

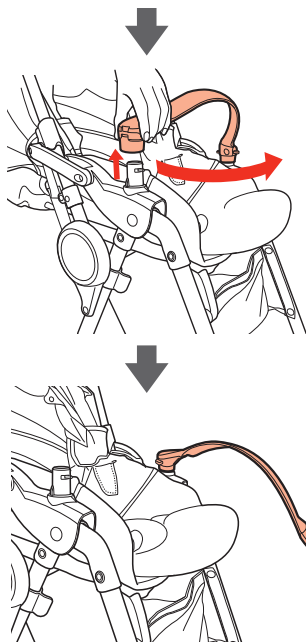
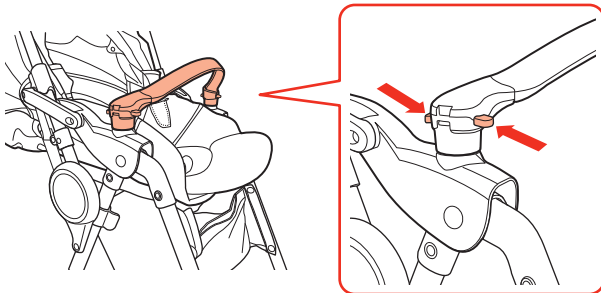
取り付けかたの手順3から逆の手順で取り外してください。

お子さまの乗せかた

ガードの開きかた・閉じかた (チェアモード)

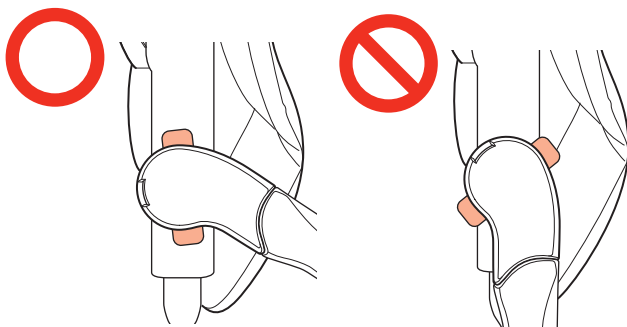
開きかた

- 1 左右どちらかのガードロックの解除ボタン(2か所)をつまみ、上に引き上げる



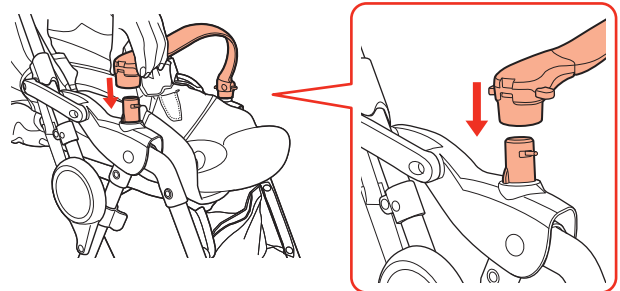
参考

解除ボタンが前後の位置からずれていると外れません。



閉じかた

- 1 ガードロックの解除ボタンを、ステーのピンの位置に合わせて押し込む



リクライニングのしかた (チェアモード)

⚠ 警告

- リクライニングするときは、周囲に人や障害物が
ないことを確認する
本品に挟まれたりぶつかったりして、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。特に小さなお子さまは近づけないでください。また、本品が破損や故障する場合があります。
- 走行中にリクライニング操作をしない
けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- お子さまを乗せた状態でリクライニング操作を行うときは、あらかじめ肩ベルトを伸ばす
お子さまがベルトに締め付けられるなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- リクライニング後は肩ベルト、腰ベルト、股ベルトをお子さまの体格に合わせて締める
お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- お子さまを乗せた状態で背もたれを倒すときは、背もたれを支えながら操作する
急に背もたれが倒れ、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

⚠ お願い

- お子さまの体重が背もたれにかかった状態では起こさない
本品が破損や故障する場合があります。

● 準備

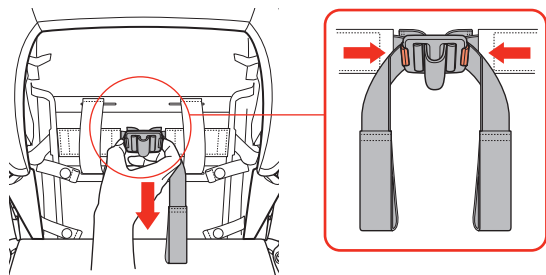
本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。

参考

リクライニングの角度については、「3ページ：使用期間について」を必ずお読みください。

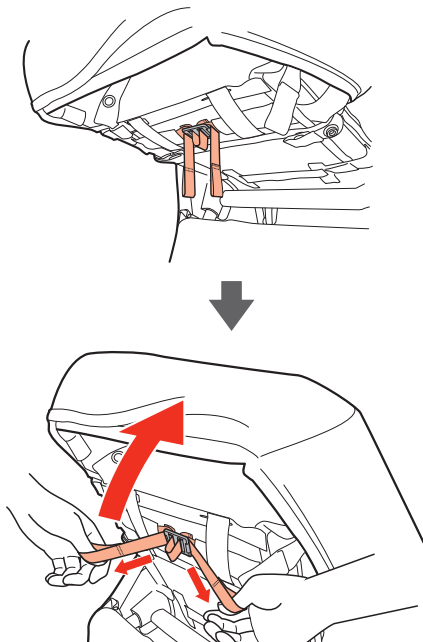
背もたれの倒しかた

- 1 リクライニングロックの左右のボタンを押しながらヘッドガードを手前に引き、リクライニング角度を調節する(お子さまが乗車している場合は、背もたれを片手で支えながら行ってください。)



背もたれの起こしかた

- 1 背もたれを持ち上げながらリクライニング用テープを左右に引き、リクライニング角度を調節する(お子さまの体重が背もたれにかからない状態で行ってください。)



肩ベルトの高さ調節のしかた (チェアモード)

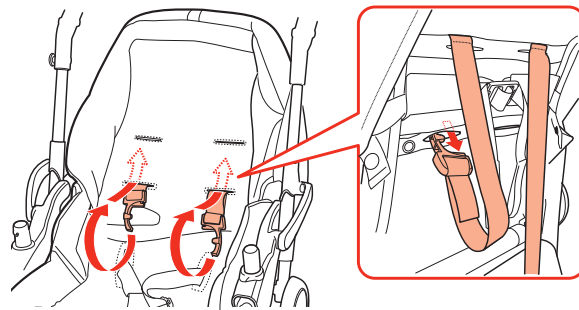
参考

お子さまの成長に合わせて、下段できつくなったら上段に調節してください。

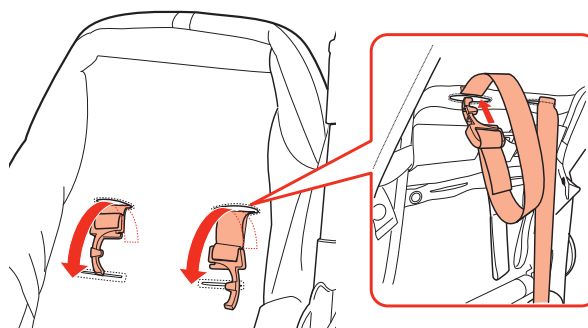
準備

コット、クッションを取り外した状態にする。
(32 ページ「モードチェンジのしかた」)

- 1 肩ベルトを座席メッシュの穴に通し、背面から肩ベルトを引き抜く



- 2 背面にある上段の穴と、座席メッシュの上段の穴から肩ベルトを出す



お子さまの乗せかた

クッションの取り付けかた・取り外しかた

● 準備

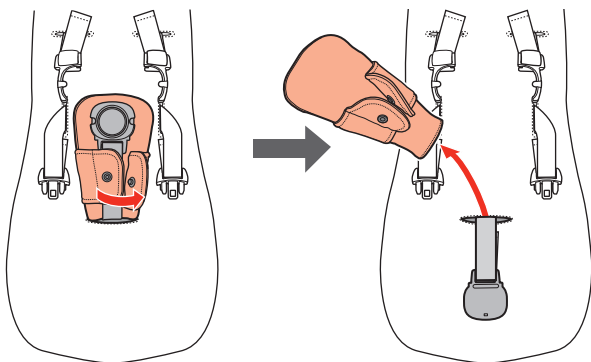
- 本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。
- あらかじめ、シェードを取り外しておく。
(32 ページ「モードチェンジのしかた」)

参考

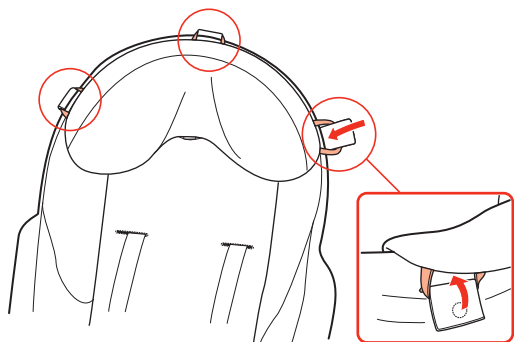
- ヘッドクッションとシートクッションはリバーシブルになっています。
- ヘッドクッションは、お子さまの頭の位置に合わせてお使いください。成長して位置が合わなくなるまで使えます。

取り外しかた(コットモード)

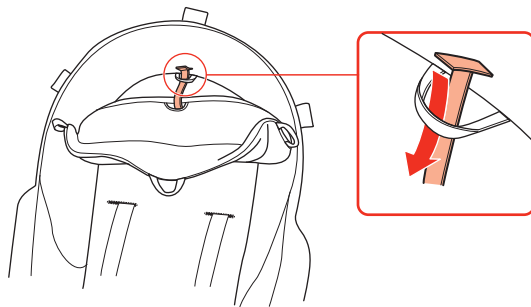
1 股ベルトカバーのボタンを外し、シートクッションから外す



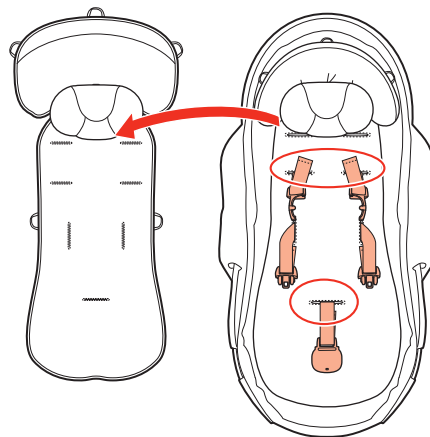
2 シートクッション上部のボタン(3か所)を外す



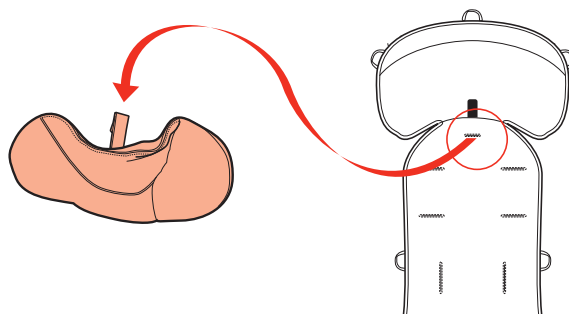
3 シートクッション上部をめくり上げ、コットのループからベルトを外す



4 ベルト(肩・腰・股)をシートクッションから外す

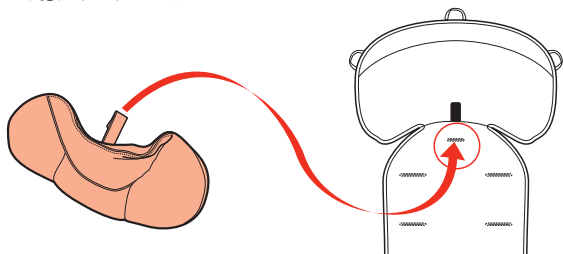


5 ヘッドクッションのベルトをシートクッションから外す



取り付けかた(コットモード)

- 1 ヘッドクッションのベルトをヘッドクッション用穴に差し込む



参考

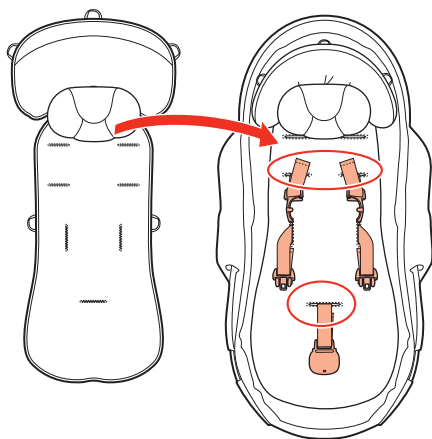
ヘッドクッションのふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。



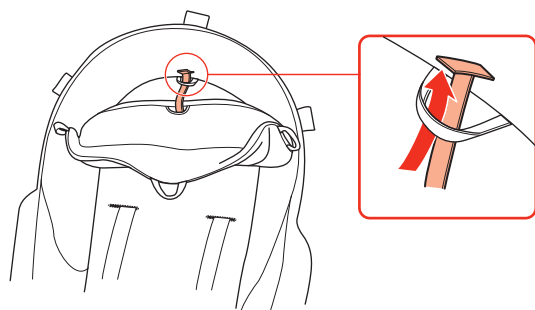
- 2 コット内にシートクッションを敷き、ベルト(肩・腰・股)を穴から出す

参考

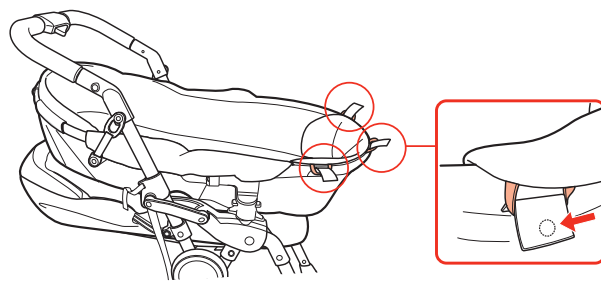
コットモードは肩ベルトの高さを下段で使用してください。



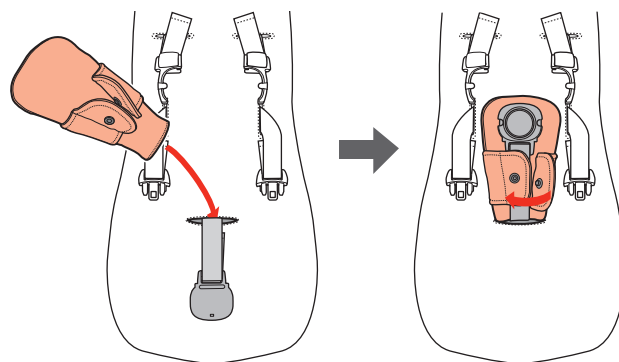
- 3 シートクッション上部をめくり上げ、ベルトをコットのループに通す



- 4 シートクッション上部のループを通してボタン(3か所)で留める

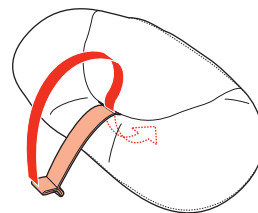


- 5 股ベルトカバーの下部を股ベルト用穴に入れ、股バックルに巻くようにボタンを留める

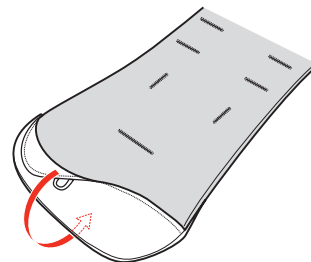


リバーシブルで使う場合

- ヘッドクッションのベルトを裏側に通してください。



- シートクッション下部のポケットを裏返しにしてください。



- シートクッション上部のベルトを裏側に通してください。



お子さまの乗せかた

取り付けかた(チェアモード)

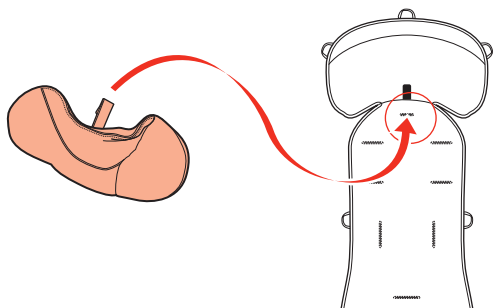
● 準備

- 本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。
- あらかじめ、シェード、ガードを取り外しておく。
(34 ページ「モードチェンジのしかた」)

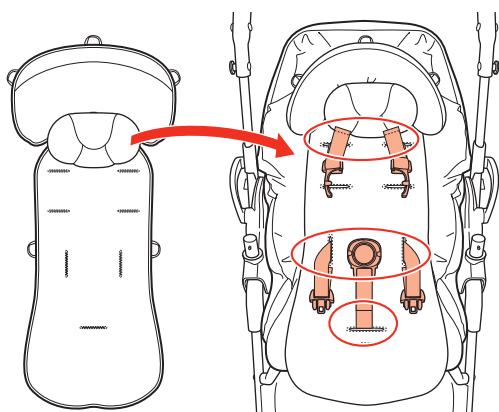
参考

- ヘッドクッションとシートクッションはリバーシブルになっています。
- ヘッドクッションは、お子さまの頭の位置に合わせてお使いください。成長して位置が合わなくなるまで使えます。
- ヘッドクッションは、シートクッションの使用中的み装着できます。

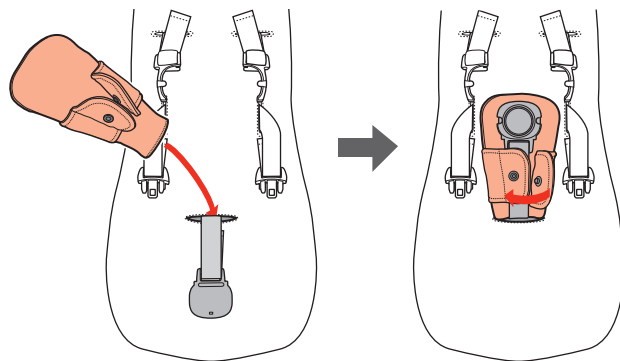
1 ヘッドクッションのベルトをヘッドクッション用穴に差し込む



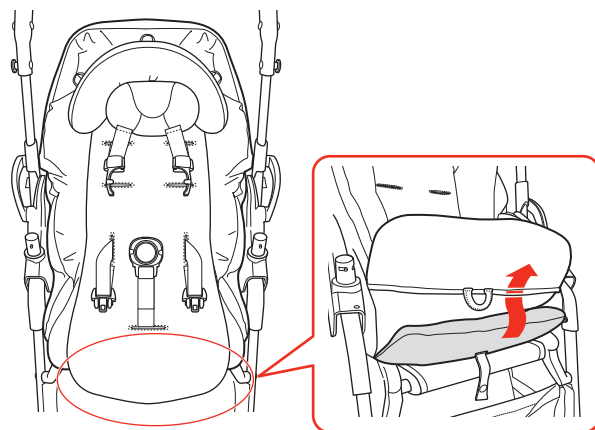
2 シートクッションをシートの上に敷き、ベルト(肩・腰・股)を穴から出す



3 股ベルトカバーの下部を股ベルト用穴に入れ、股バックルに巻くようにボタンを留める



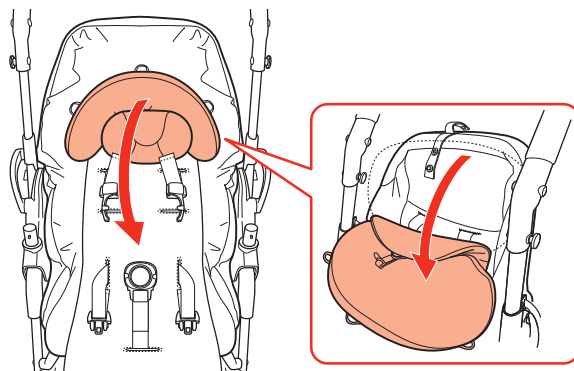
4 シートクッション下部のポケットに座席メッシュのクッション部を入れる



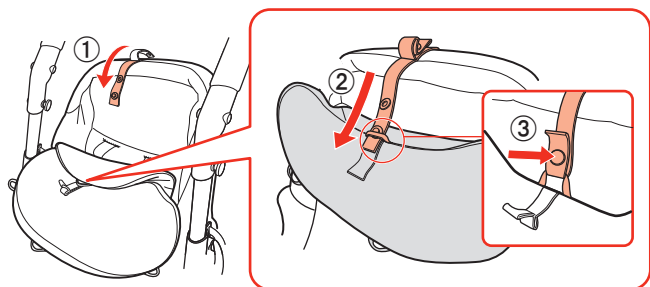
5 座席メッシュ座面下のベルトのボタンを外し、シートクッションのループに通してボタンを留める



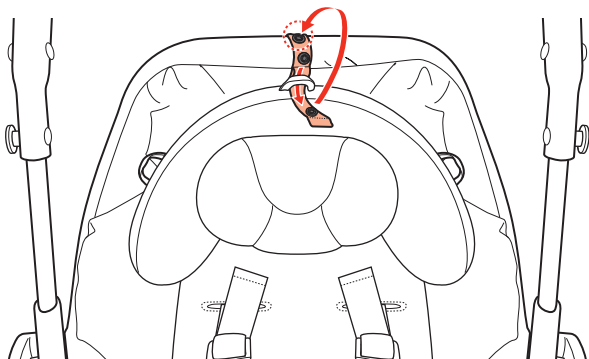
6 シートクッション上部をめくり上げる



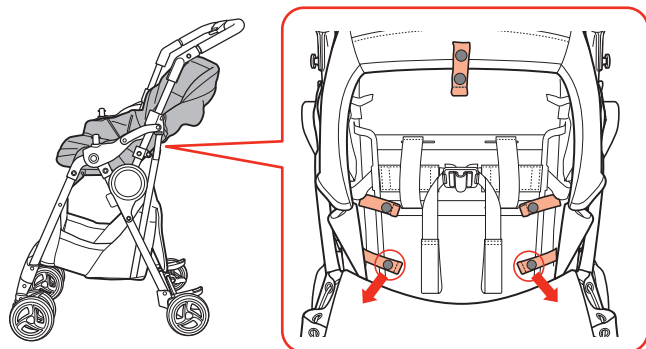
- 7** 座席メッシュ上部の長いベルトのボタンを外し、めくり上げたシートクッションのループに通してボタンを留める



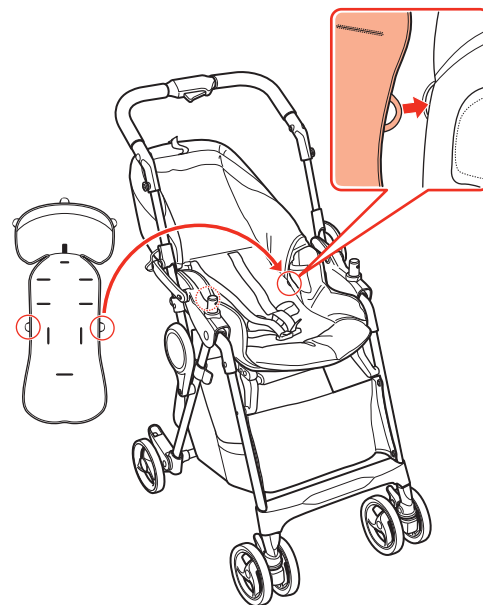
- 8** 座席メッシュ上部の短いベルトのボタンを外し、シートクッションのループに通してボタンで留める



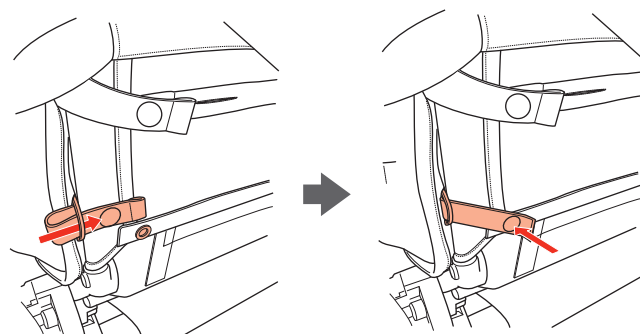
- 9** 座席メッシュ背面の1番下にあるベルトのボタン(2か所)を外す



- 10** シートクッション左右のループを座席メッシュの穴に入れる



- 11** シートクッションのループにベルトを通し、ボタン(2か所)を留める



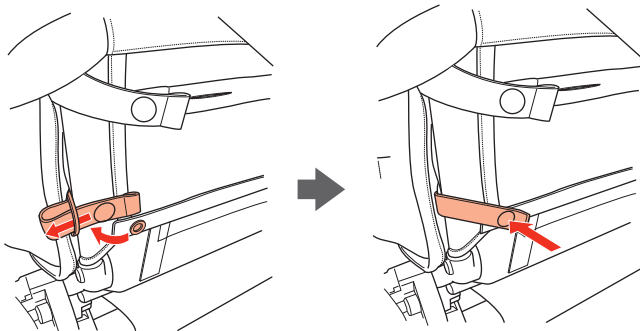
参考

リバーシブルでの使用方法については「27 ページの「リバーシブルで使う場合」をお読みください。

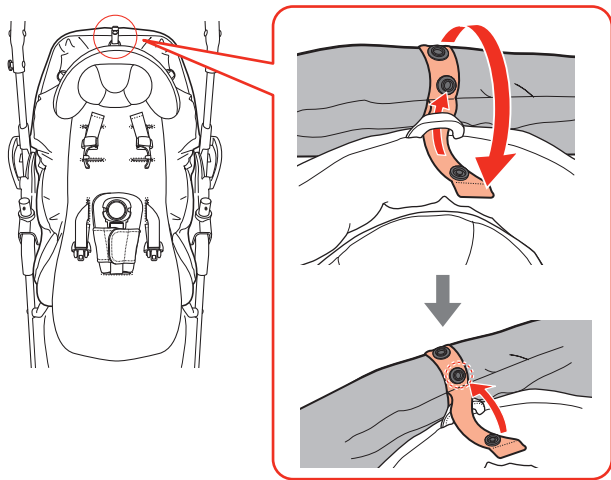
お子さまの乗せかた

取り外しかた(チェアモード)

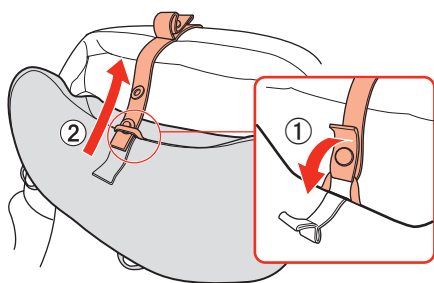
- 1** 座席メッシュ背面の1番下にあるベルトのボタン(2か所)を外し、シートクッションのループからベルトを外して再びボタン(2か所)を留める



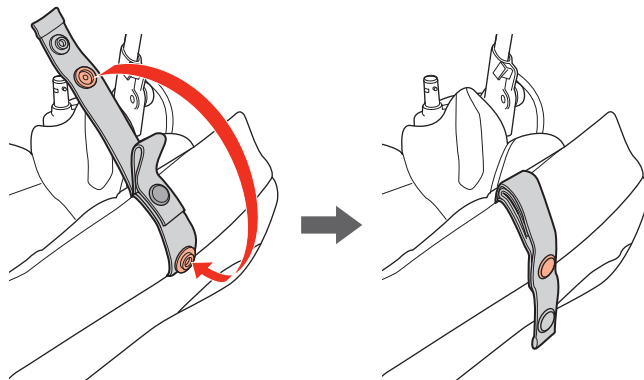
- 2** 座席メッシュ上部の短いベルトのボタンを外し、シートクッションのループからベルトを外してボタンを留める



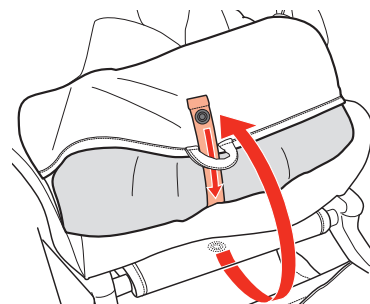
- 3** シートクッションの上部をめくり上げ、座席メッシュ上部の長いベルトのボタンを外し、シートクッションのループから外す



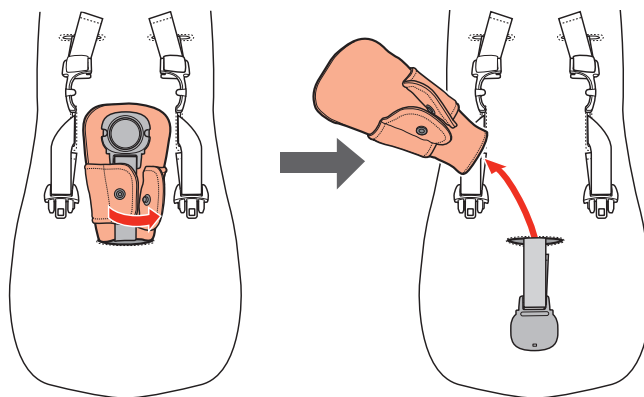
- 4** 座席メッシュ上部の長いベルトのボタンを留める



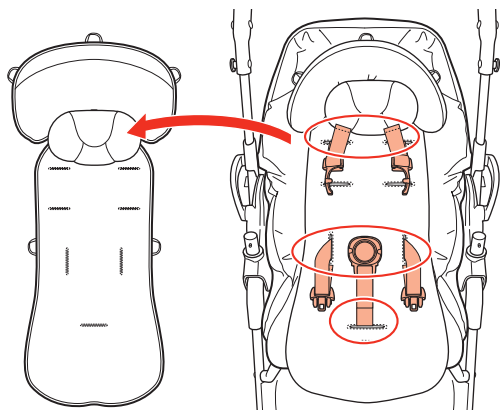
- 5** 座席メッシュ座面下のベルトのボタンを外し、シートクッションのループからベルトを外して再びボタンを留める



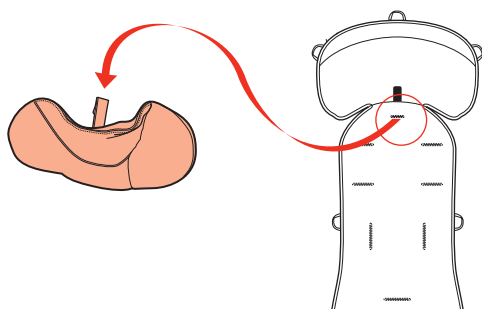
- 6** 股ベルトカバーのボタンを外し、シートクッションから外す



7 ベルト(肩・腰・股)をシートクッションから外す



8 ヘッドクッションのベルトをシートクッションから外す



モードチェンジのしかた

コットモード → チェアモード

⚠ 警告

- ガード使用時も、必ずお子さまにはベルトを使用する
お子さまが本体から落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- ガード解除ボタンを、お子さまに操作させない
急に開いてけがをするなど、予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- お子さまを乗せたまま本品を持ち上げない
お子さまがベルトから抜け出して落下したり、本品が折りたたまれてお子さまが挟み込まれるなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。
- 炎天下での使用時、コットフレームガードを倒したり、触れたりしない
コットフレームが熱くなり、やけどの原因になる場合があります。

⚠ 注意

- ガードを引っ張ったり、過度な力を加えたり、振り回したりしない
けがや、本品が破損や故障する原因になる場合があります。
- ガードを閉じるときは、体や衣服、小物などを挟まない
けがや、本品が破損や故障する場合があります。

⚠ お願い

- ガードに強い力や衝撃を加えない
ガードが破損や故障する場合があります。
- ガードを外して保管するときは小さく折りたたむなどの負荷をかけない
ガードの破損や変形の原因になる場合があります。

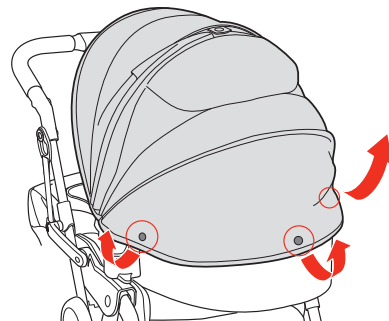
参考

コットの上に荷物やお子さまを乗せた状態では、コットを取り外せない構造になっています。

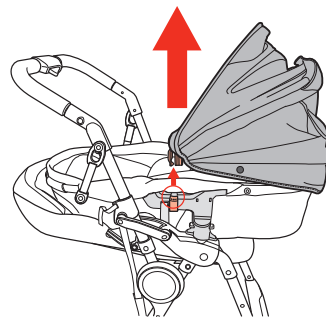
● 準備

本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。

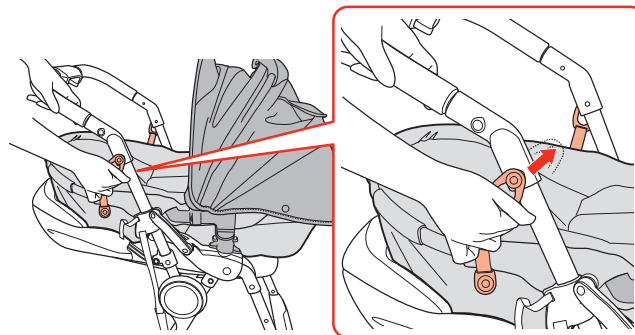
1 シェードのボタン(3か所)を外す



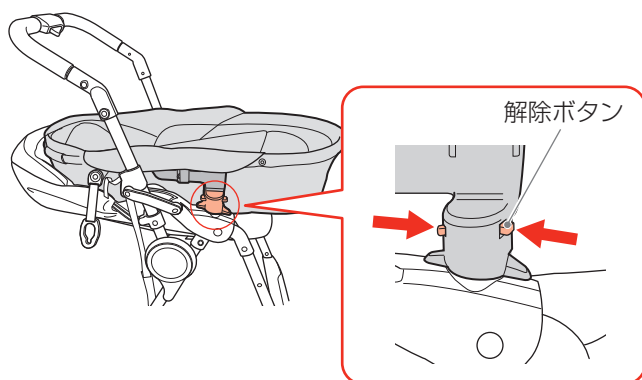
2 シェードを上引き上げる



3 バンドを押し上げ、コットフックから左右のバンドを取り外す



4 左右のコットロックの解除ボタン(2か所)をつまみながら、コットを持ち上げる



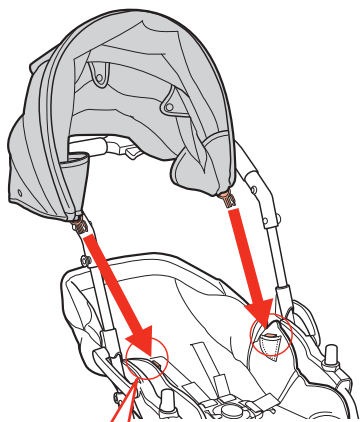
参考

チェアモードでクッションをご使用になるときは、コットのクッションを取り外してチェアに取り付けてください。

(26 ページ「取り外しかた(コットモード)」)

(28 ページ「取り付けかた(チェアモード)」)

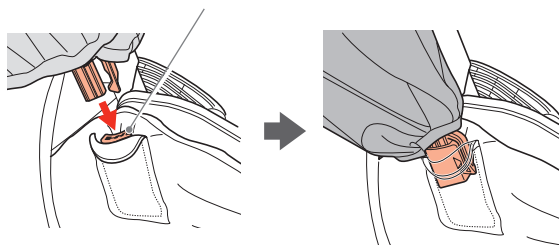
5 シェードをロック部(左右)に差し込む



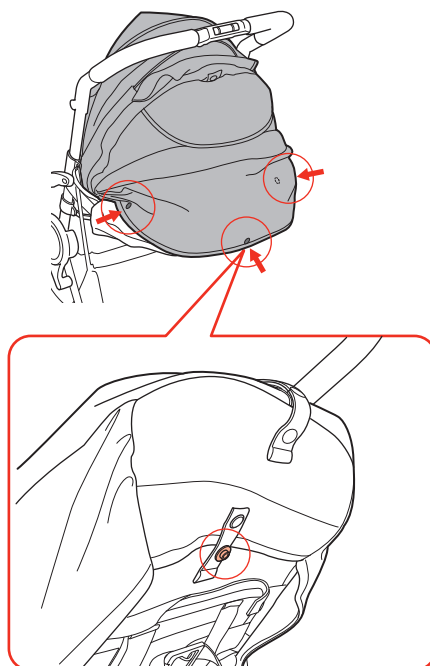
参考

シェードのロック部は座席メッシュ側面の内側にあります。

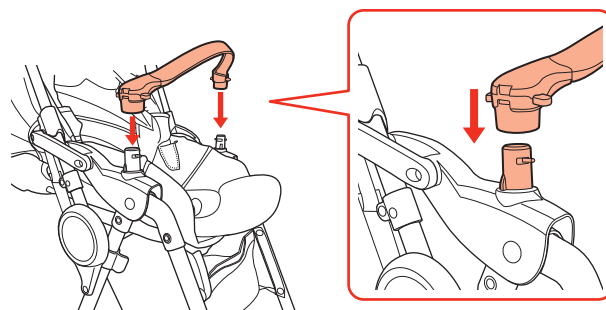
シェードのロック部



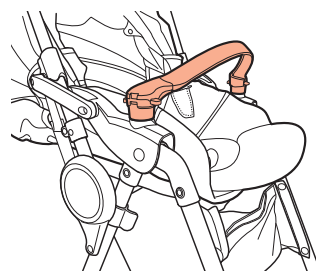
6 シェードのボタン(3か所)を留める



7 ガードロックを左右のステーにかぶせ、カチッと音がするまで押し込む



8 ガードがしっかり装着されているか、確認する

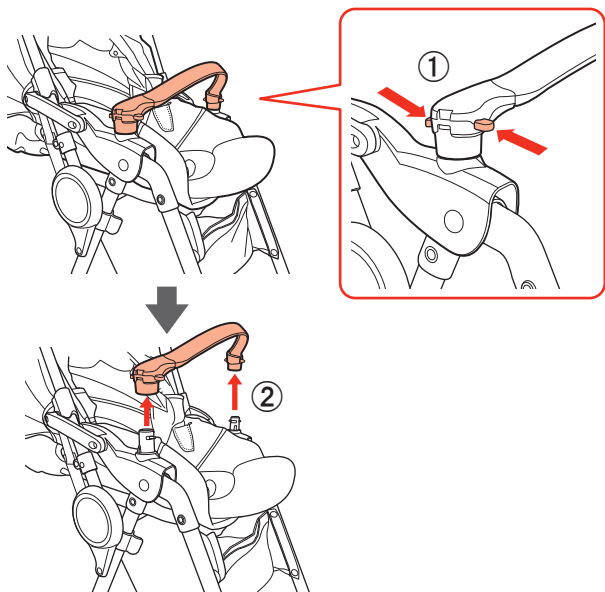


チェアモード → コットモード

● 準備

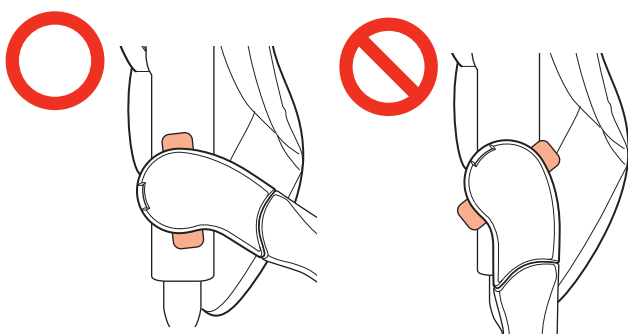
本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。

1 ガードロックの解除ボタン(2か所)を左右ともつまみ、上に引き上げる

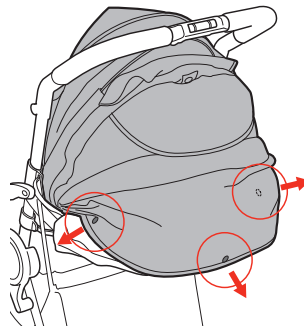


参考

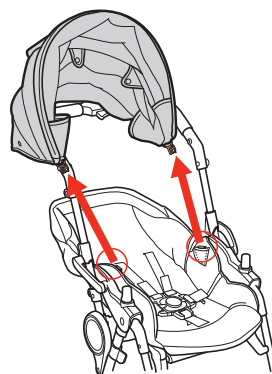
解除ボタンが前後の位置からずれていると外れません。



2 シェードのボタン(3か所)を外す



3 シェードを上引き上げる



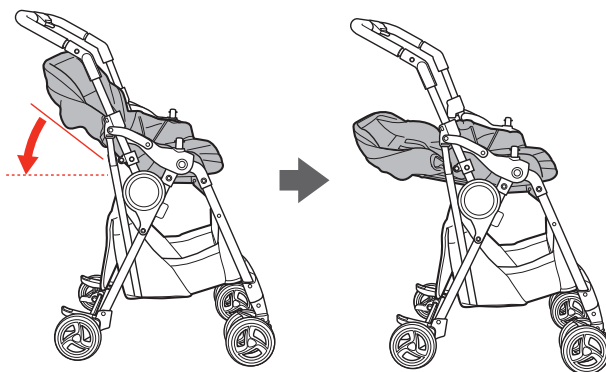
参考

コットモードでクッションをご使用になるときは、チェアのクッションを取り外してコットに取り付けてください。

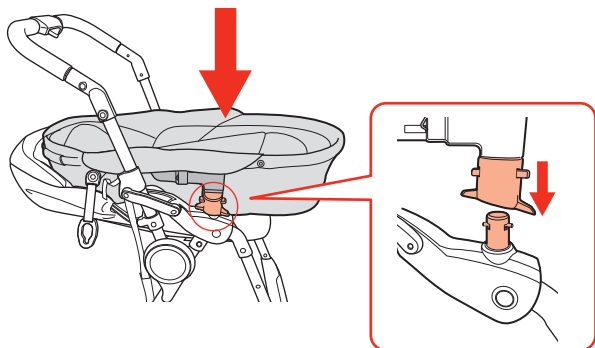
(30 ページ「取り外しかた(チェアモード)」)

(27 ページ「取り付けかた(コットモード)」)

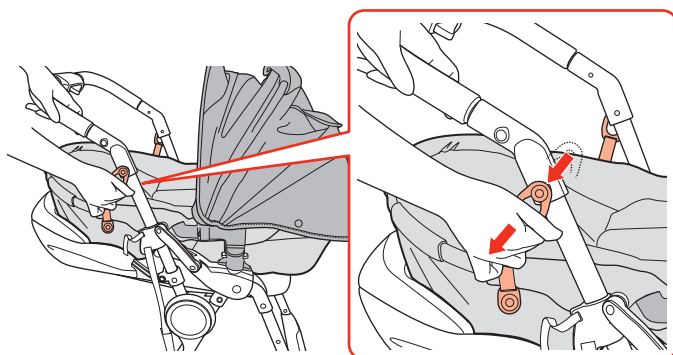
4 リクライニングを最も倒した状態にする



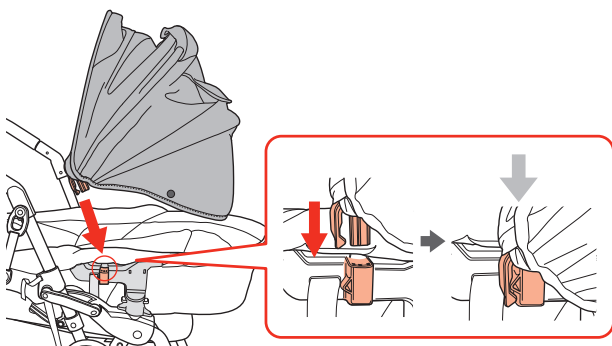
- 5** コットロックをステーにかぶせ、カチッと音がするまで左右同時に押し込む
左右のコットロックがしっかり固定されていることを確認してください



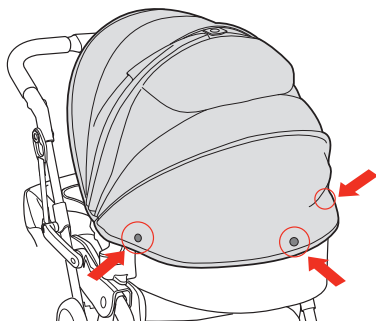
- 6** コットフックにバンド(左右)を引っ掛け、カチッと音がするまで押し込む



- 7** シェードをロック部(左右)に差し込む



- 8** シェードのボタン(3か所)を留める



お手入れのしかた

座席メッシュの取り付けかた・取り外しかた

⚠ 警告

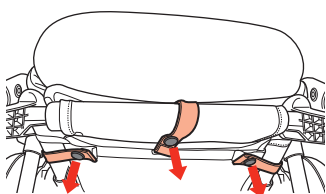
- 座席メッシュを外した状態で使用しない
お子さまが指を挟むなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

● 準備

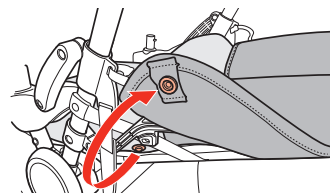
- 本品を安全で、水平な場所に自立させ、ストッパーをロックする。
- あらかじめ、コット、シェード、ガード、クッションを取り外し、リクライニングを最も倒した状態にしておく。

取り外しかた

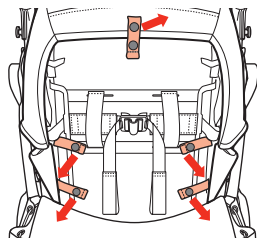
1 座面下のボタン(3か所)を外す



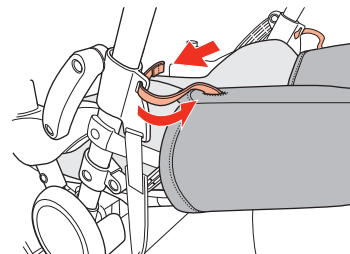
2 背もたれ側面のボタン(左右2か所)を外す



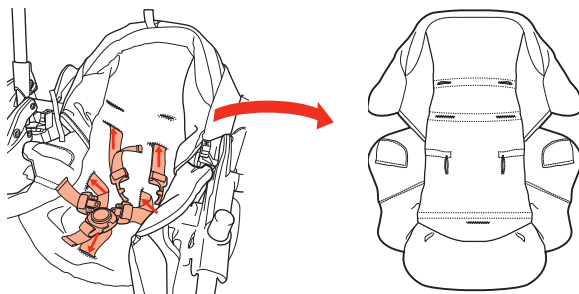
4 背面のボタン(左右4か所、上1か所)を外す



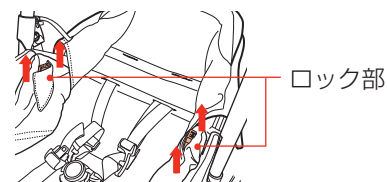
3 背もたれ側面のベルト(左右2か所)を外す



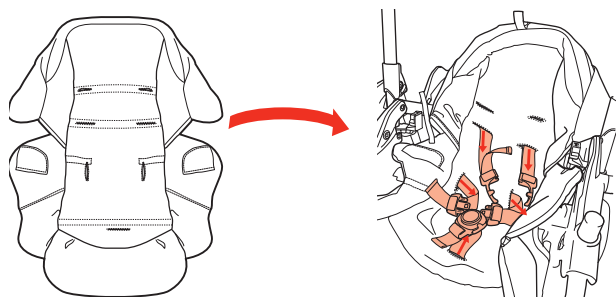
6 座席メッシュのベルト穴から、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを外す



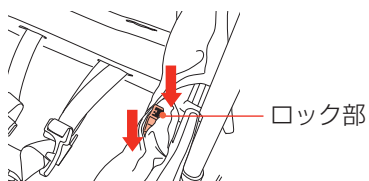
5 シェードのロック部から、座席メッシュを引き抜く(左右2か所)



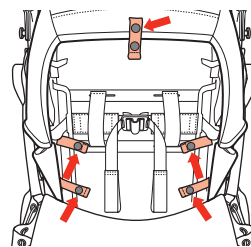
1 座席メッシュのベルト穴に、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを通す



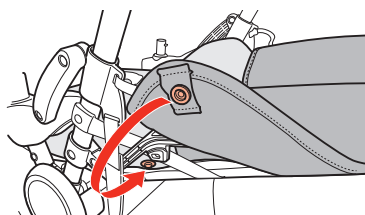
2 座席メッシュの内側の穴に
シェードのロック部を通す



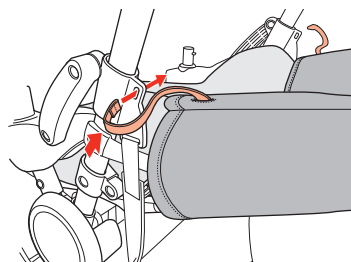
3 背面のボタン(左右4か所、
上1か所)を留める



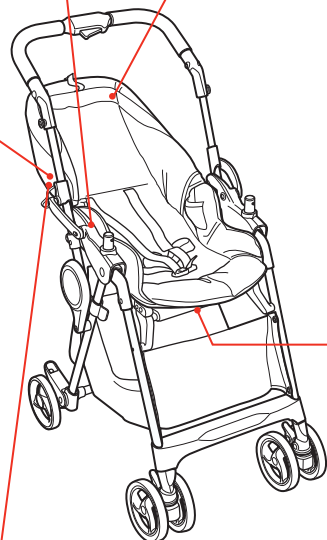
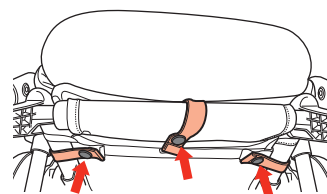
4 背もたれ側面のボタン
(左右2か所)を留める



5 背もたれ側面のベルト
(左右2か所)を穴に通す



6 座面下のボタン(3か所)を留める



バックルへのベルトの取り付けかた・取り外しかた

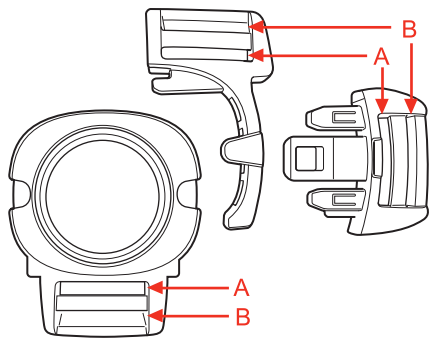
⚠ 警告

- ベルトからバックルを取り外した場合は、正しく取り付ける
ベルトからバックルが外れ、お子さまがベルトから抜け出して落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

参考

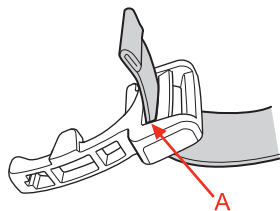
- バックルへのベルト取り付けが不完全な場合、使用中にベルトが抜ける場合があります。
- ベルトをバックルに取り付けたあと、ベルトを強く引っ張り、バックルが確実に取り付けられていることを確認してからご使用ください。

バックル穴位置

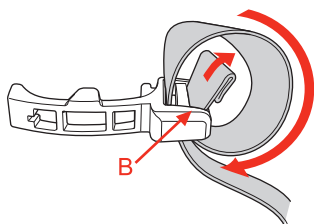


取り付けかた(肩・腰・股バックル共通)

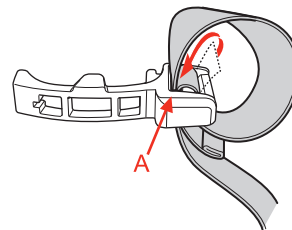
1 バックルの裏側からAの穴にベルトを通す



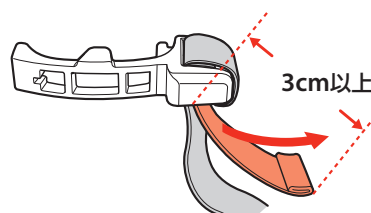
2 バックルの裏側からBの穴にベルトを通す



3 Bの穴から出てきたベルトをAの穴に通す



4 ベルトを矢印の方向に引きゆるみを取る



⚠ 警告

- ベルトの端から3cm以上残るように調節する
ベルトが抜けてお子さまが落下するなど、けがや、予期せぬ事故の原因になる場合があります。

5 バックルを引っ張り、確実にベルトに取り付けられていることを確認する

取り外しかた(肩・腰・股バックル共通)

取り付けかたの手順4から逆の手順で取り外してください。

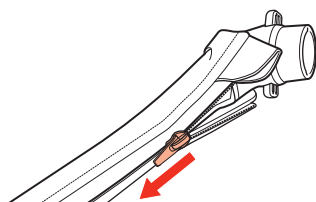
ガードカバーの取り付けかた・取り外しかた

● 準備

あらかじめガードを取り外しておく。

取り外しかた

1 ガードカバーのファスナーを開ける



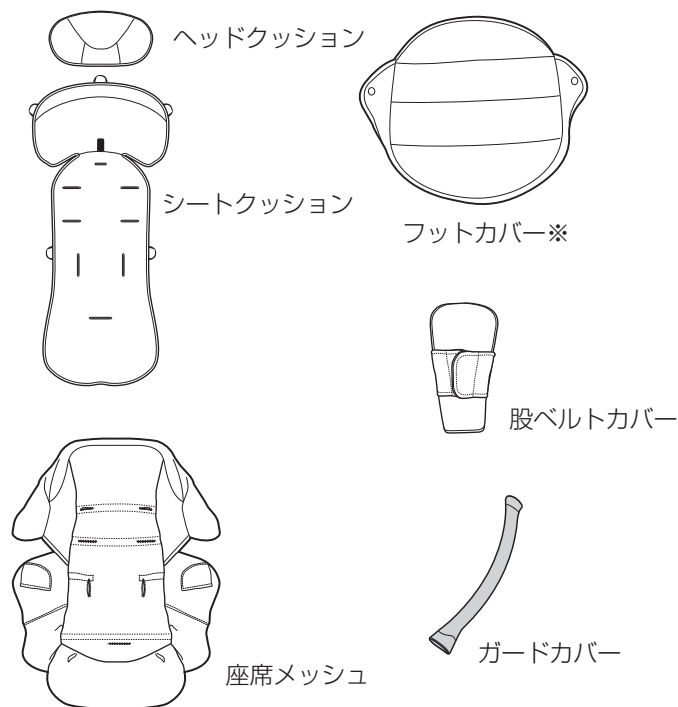
取り付けかた

1 ガードカバーのファスナーを閉じる

その他のお手入れのしかた

カバー類・クッション類のお手入れ

洗濯できるパーツ



カバー類を本品から取り外したら、右記の注意項目に従ってお手入れしてください。

※ グレードにより付属されていない場合があります。

洗濯上の注意

	30℃以下の液温で、洗濯機は弱水流または弱い手洗いモードで洗濯してください。また、必ず洗濯ネットおよび、中性洗剤を使用してください。
	塩素系および酸素系漂白剤による漂白はできません。
	タンブル乾燥はできません。
	洗濯機で脱水後、形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。ねじり絞りは避けてください。
	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	弱い操作によるウェットクリーニングができます。

参考

- 洗えない布地が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- 洗濯の回数やカバーの経年劣化の状態によっては、シワ等が発生する場合がありますが、性能に問題はありません。

フレームのお手入れ

⚠️ お願い

- 本品のフレームのお手入れは、水拭き以外はしない部品の変質や変色、破損する場合があります。
- フレームに砂や泥の汚れを付けたまま使用しないネジやナットなどに砂などが入り、本品が破損や故障する場合があります。

フレームやタイヤに付いた砂や泥、ホコリなどは、水を含ませ固く絞った布で拭き取ってください。

メンテナンスのしかた

⚠ 注意

- お子さまがなめたり、触れたりするおそれのある場所にシリコンスプレーが付着した場合、しっかり拭き取って使用する。
- プラスチックに使用できるか、シリコンスプレーの取扱説明書を確認する。

きしみ音が発生したり、スムーズに開閉しないなどスムーズに動かない場合は、付着している砂や泥、ホコリなどを取り除いてから市販のプラスチックに使用できるシリコンスプレーを少量塗布してください。

参考

- 塗布量が多すぎると、砂や泥、ホコリなどが付着してスムーズに動作しなくなる場合があります。



塗布禁止箇所

以下の場所には塗布しないでください。

動作不良やバックルが不意に外れるなど、けがや予期せぬ事故の原因になる場合があります。



ハンドル周り

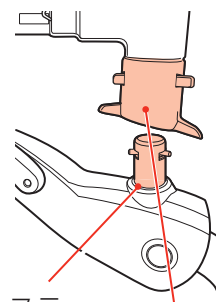
開閉ボタン

解除スライダー



コットロック (左右)

* 外した状態



ステー

コットロック



開閉ロックカバー裏面

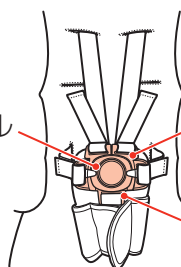


バックル

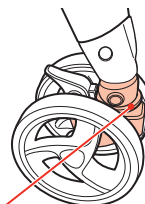
腰バックル

肩バックル

股バックル



前輪 (左右)



キャスター部

保管について

⚠️お願い

- 火気の近くに置いたり、炎天下で高温になったりする車内に放置しない
本品が破損や故障する場合があります。
- 本品を保管するときはキャスターを内向きにロックし、必ずストッパーをかける
本品が動き出し、転倒して本品が破損や故障する場合があります。
- 本品を横向きに寝かせたり、上に荷物などを重ねた状態で保管したりしない
本品が破損や故障する場合があります。

本品に市販の袋等をかぶせて、直接日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけてください。

点検

ご使用前、および日常的にネジやナットなどのゆるみや部品の欠損、および動作不良などの異常がないか点検してください。

廃棄方法

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

オプション品について

オプション品は以下のエールベベホームページまたはQRコードからご確認することができます。

パソコンから・・・<https://ailebebe.jp>

ケータイから・・・



こんなときは／よくあるご質問

よくあるご質問は以下のエールベベホームページまたはQRコードからご確認することができます。
よくあるご質問では、ベビーカーについての疑問・質問への回答、およびアドバイスをを行っています。

パソコンから・・・ <https://ailebebe.jp/faq-flacot.html>

ケータイから・・・



お客様の疑問・質問が掲載されていない場合は、お手数ですが、巻末に記載のサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	解説	参照ページ
本品が開きません、 折りたたみません	• ハンドルの開閉ボタン解除スライダーをスライドしながら開閉ボタンを押してください。	14 ページ： 「本品の開きかた・たたみかた」
	• ハンドルやガードにシェードが引っかかっていますか？引っかかっている場合は、シェードをたたんでください。	18 ページ： 「シェードの広げかたとたたみかた」
小回りができません	• キャスターロックレバーを解除していますか？解除されていない場合は、解除してください。	17 ページ： 「キャスターのロック解除のしかた」
ストッパーがききません	• ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。	16 ページ： 「ストッパーの使いかた」
バックルが留まりません	• バックルを固定しづらい場合は、お菓子や飲みものなどの異物が入っている可能性があります。バックルに異常を感じた場合は、使用を中止して、サービスセンターへご連絡いただき、点検修理を受けてください。	21 ページ： 「バックルとベルトの使いかた」
背もたれが起こせません	• お子さまを本品から降ろして、リクライニング用テープを引いてください。	24 ページ： 「リクライニングのしかた」
きしみ音がします、 スムーズに動きません	• 付着している砂や泥、ホコリなどを取り除いてからシリコンスプレーを塗布してください。	40 ページ： 「メンテナンスのしかた」

保証書

保証規定

- 保証期間内(ご購入日より1年間)に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
- 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
 - 本品各部の紫外線等自然劣化による変色。
 - 本体カバー等の縫製品部品の汚れや損傷。
 - お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷その他の天変地変による故障および損傷。
 - 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - 本証書のご提示がない場合。
 - 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 - 紛失・盗難。
 - 可動部・タイヤの自然消耗。
 - 故障の原因が本品以外に起因する場合。
- 一度で使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
- 落下や事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
- 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理などの対応ができないことがあります。
- 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。
- 日本国内のみ有効／ This warranty is valid only in Japan.
- 製品による二次的な損傷や損害などについては保証いたしかねます。

保証書

本証書は、保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。
購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を弊社サービスセンター
またはご購入の販売店にご提示の上、お問い合わせください。

ご購入後、ご使用になる前にご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

(製造番号)



商品名	製造番号 B1820117112345B などの英数字	
保証期間	ご購入日より1年間 (但し保証書に記載の日付より)	ご購入日 年 月 日
お名前	ご購入店	
ご住所	住所	
TEL.	TEL.	

修理

レシート貼り付け欄

お問い合わせ先

★ 商品のお問い合わせやパーツ購入については……

株式会社 カーメイト 〒171-0051
東京都豊島区長崎 5-33-11

商品のお問い合わせ：カーメイトサービスセンター

TEL:03-5926-1212 FAX:03-5926-1218

パソコンからは…<https://www.carmate.co.jp/support/>

電話受付時間〈平日〉10:00～18:30

〈土・日・祝〉10:00～12:00/13:00～18:30

★ 年末・年始および盆期間の一部等は休業日とさせていただきますのでご了承ください。

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。